

アンケート調査 <集計結果>

都市計画マスタープランを策定するにあたっては、「都市計画法第（18条の2第2項）」に則し、住民の意見を反映するためにアンケート調査を実施しました。

[参考：都市計画法（抜粋）]

（市町村の都市計画に関する基本的な方針）

- 第18条の2 市町村は、議会の議決を経て定められた当該市町村の建設に関する基本構想並びに都市計画区域の整備、開発及び保全の方針に即し、当該市町村の都市計画に関する基本的な方針（以下この条において「基本方針」という。）を定めるものとする。
- 市町村は、基本方針を定めようとするときは、あらかじめ、公聴会の開催等住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。
 - 市町村は、基本方針を定めたときは、遅滞なく、これを公表するとともに、都道府県知事に通知しなければならない。
 - 市町村が定める都市計画は、基本方針に即したものでなければならない。

アンケート調査概要

（1）調査対象

調査対象（抽出先）は住民基本台帳に基づいて18歳以上の町民1,500人を無作為に抽出しました。

（2）調査概況

調査概況は下表のとおりです。

	調査期間	調査方法	配布数	回収数	回収率
	令和2（2020）年9月4日から 令和2（2020）年9月25日まで	郵送法	1,500票	695票	46.3%
設 問 概 要	アンケート設問は「個人属性」・「生活環境や条件の満足度」・「将来イメージ」・「生活環境や条件の重要度」・「住民参加への意向」等について、全13問を設定しています。				
	問1) 性別 問2) 年齢 問3) 居住地 問4) 通勤・通学先 問5) 都市計画マスタープランの認知 問6) 生活環境や条件の満足度 問7) 将来のイメージ	問8) 望ましい市街地の在り方 問9) インター周辺の土地利用 問10) 生活環境や条件の重要度 問11) まちづくりの進め方 問12) 住民参加への意向 問13) フライトロード整備の要望			

(3) 集計結果

アンケートは以下の集計結果に基づいて行っています。

[アンケートの集計方法]

- 1) アンケート結果は集計表とグラフにより整理しています。
- 2) 集計表について、表中の上段は回答数、下段は全回答数 821（無回答を含む）に対する割合（%）を示しています。
- 3) 小数第 2 位四捨五入の関係から表記の割合（%）の合計が 100.0%とならない場合があります。
- 4) 複数回答の場合、各選択肢の割合（%）は回答数 821 に対するものとしています。（したがって、各割合の合計は 100%以上となっています。）
- 5) 集計表について、選択肢のうちで、最も多かった回答（無回答を除く 1 位のもの）を茶で示しています。
- 6) 設問によっては、地域別（旧三町地区別）、年代・年齢層で回答数を区分集計し、年代・年齢層別の意識の違いがわかるようにしています。（年齢層としては、10 代～30 代を若年・ファミリー層、40 代～50 代を中年層、60 代以上をシニア層の 3 区分としています。）

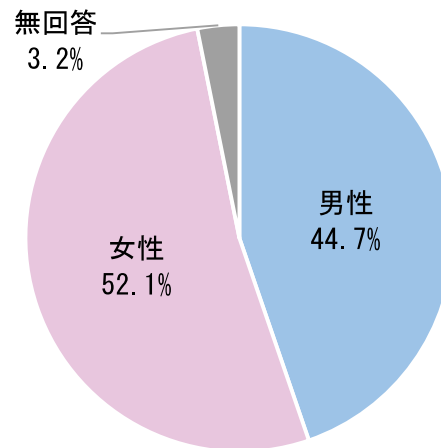
次頁から問 1) ～問 13) のアンケート回答集計結果を掲載します。

■ あなたご自身のことについておたずねします

問1) あなたの性別はどちらですか？

【回答数】	男性	女性	無回答
695	311	362	22
100.0%	44.7%	52.1%	3.2%
参考	48.7%	51.3%	—

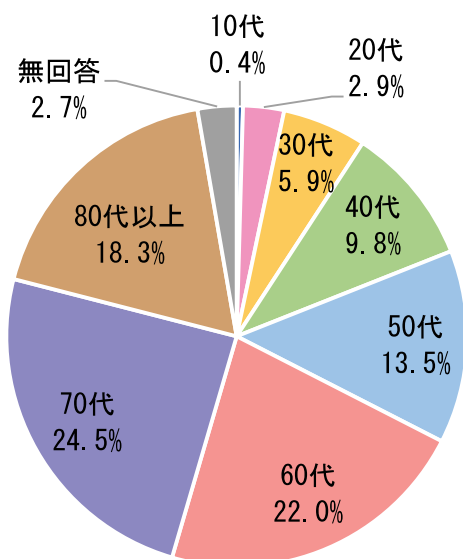
注) 参考欄は H27 国勢調査による男女人口の構成



問2) あなたの年齢はおいくつですか？

【回答数】	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
695	3	20	41	68	94	153	170	127	19
100.0%	0.4%	2.9%	5.9%	9.8%	13.5%	22.0%	24.5%	18.3%	2.7%
参考	9.1%	9.7%	12.3%	14.5%	12.2%	14.2%	11.0%	7.7%	—

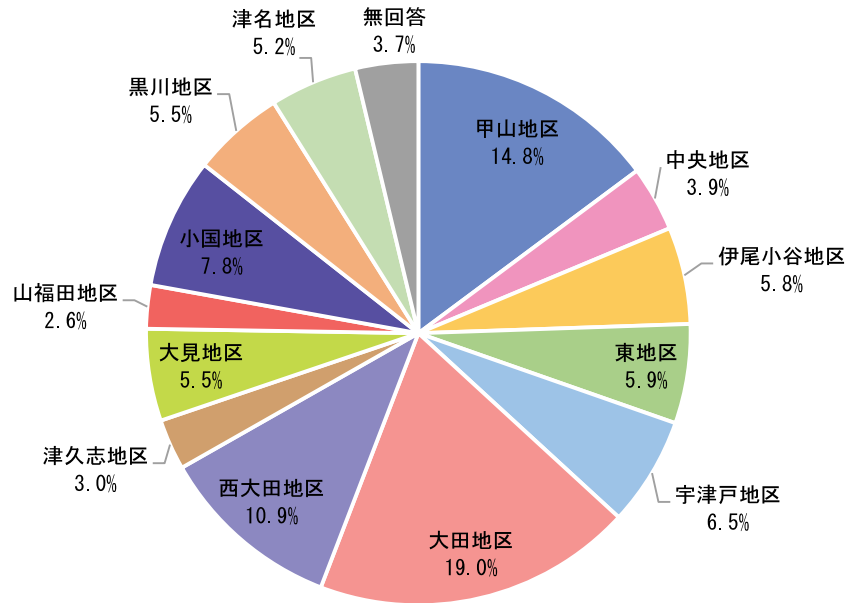
注) 参考欄は H27 国勢調査による年齢別の構成比。



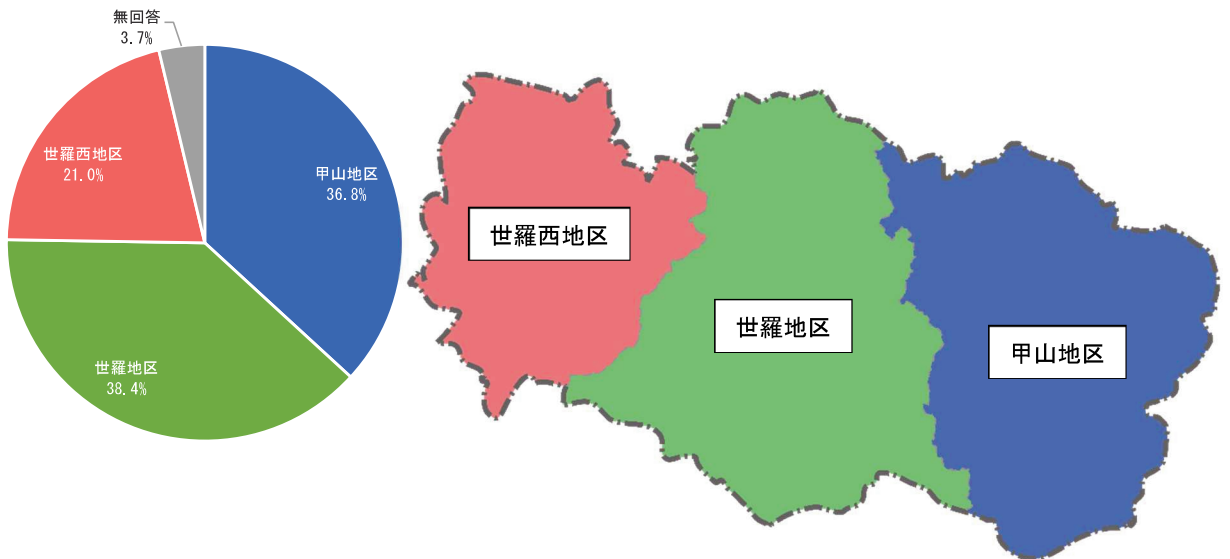
全回答数 695 に対する 10～30 代 (若年・ファミリー層) の割合は 9.2%、40～50 代 (中年層) は 23.3%、60 代以上 (シニア層) は 64.8% となっており、国勢調査の年代別構成比と比較すると若年・ファミリー層が少なく、シニア層が非常に多くなっています。

問3) あなたがお住まいの地区はどちらですか？

【回答数】	甲山地区	中央地区	伊尾小谷地区	東地区	宇津戸地区	大田地区	西大田地区	津久志地区	大見地区	山福田地区	小国地区	黒川地区	津名地区	無回答
695	103	27	40	41	45	132	76	21	38	18	54	38	36	26
100.0%	14.8%	3.9%	5.8%	5.9%	6.5%	19.0%	10.9%	3.0%	5.5%	2.6%	7.8%	5.5%	5.2%	3.7%



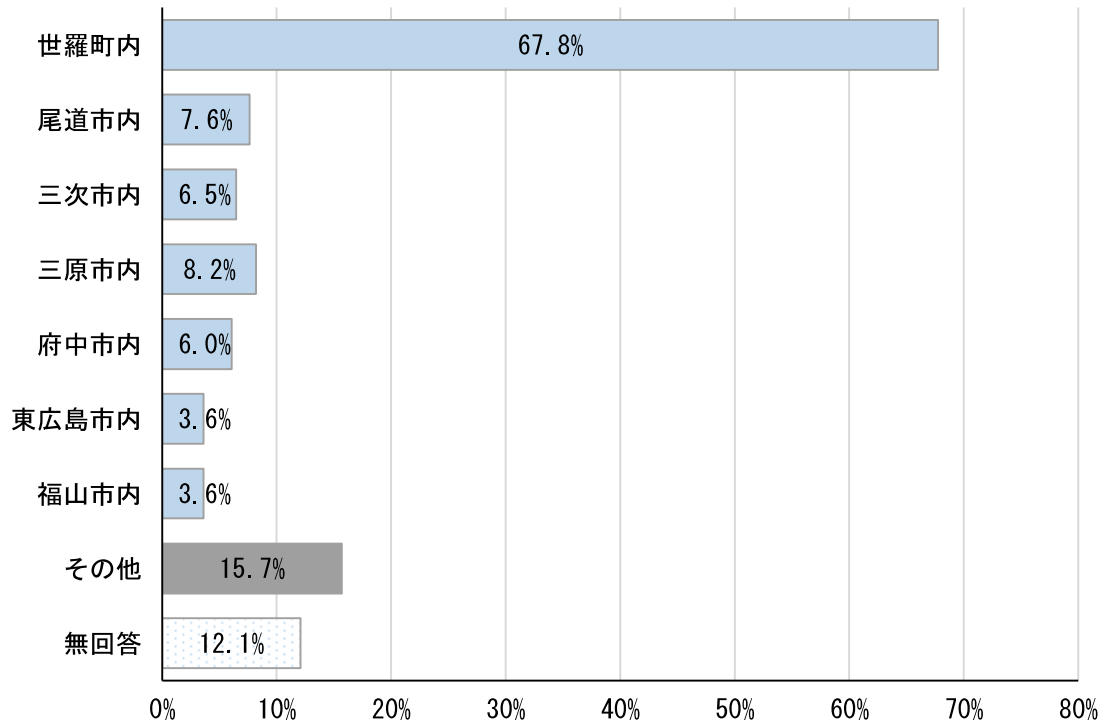
更に、旧三町地区単位の移住地の割合は以下のようになっています。



問4) あなたとご家族の通勤・通学先はどこですか？ご家族みなさまの回答をお願いいたします。

通勤・通学先は「世羅町内」が67.8%で大半を占めており、次いで「三原市内」が8.2%、「尾道市内」が7.6%となっています（その他を除く）。

【回答数】	世羅町内	尾道市内	三次市内	三原市内	府中市内	東広島市内	福山市内	その他	無回答
695	471 67.8%	53 7.6%	45 6.5%	57 8.2%	42 6.0%	25 3.6%	25 3.6%	109 15.7%	84 12.1%

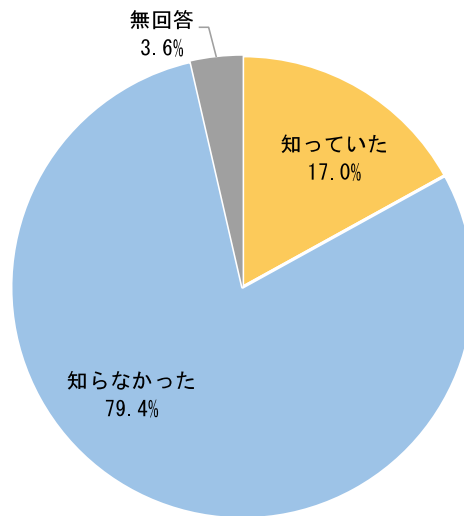


■ 「世羅町都市計画マスタープラン」についておたずねします

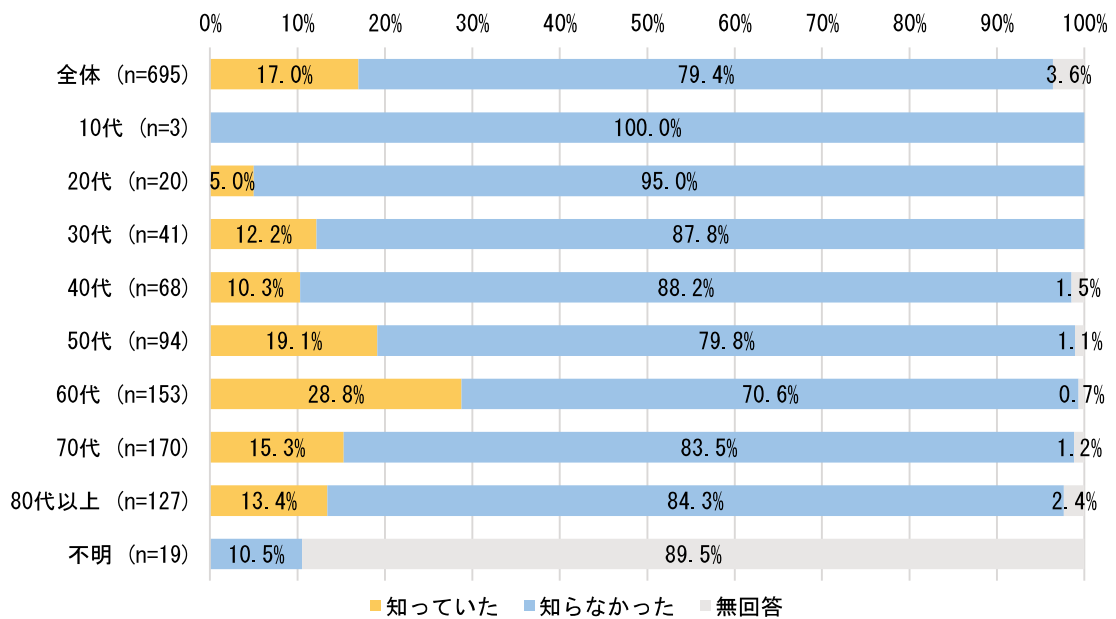
問5) あなたは、「世羅町都市計画マスタープラン」が策定されていることを知っていましたか。

平成23(2011)年3月に策定された世羅町都市計画マスタープランについて、「知らなかった」と回答した人が79.4%であり、「知っていた」と回答した人が17.0%となっており、世羅町において都市計画マスタープランの認知度は低い状況となっています。

【回答数】	知っていた	知らなかった	無回答
695	118	552	25
100.0%	17.0%	79.4%	3.6%



年代別にみると、若年層・ファミリー層の認知度が低く、50代からシニア層の認知度が高い傾向にあります。



■ 現在の世羅町の『生活環境や生活条件』についておたずねします

問6) 現在の世羅町の生活環境や生活条件についてあなたはどのように感じていますか？それぞれの項目について、満足度を評価してください。

満足度について、「満足：2点」、「やや満足：1点」、「どちらでもない：0点」、「やや不満：-1点」、「不満：-2点」とし、合計得点を算出し、満足度を算出しました。それぞれの項目についての点数は以下の表のとおりです。

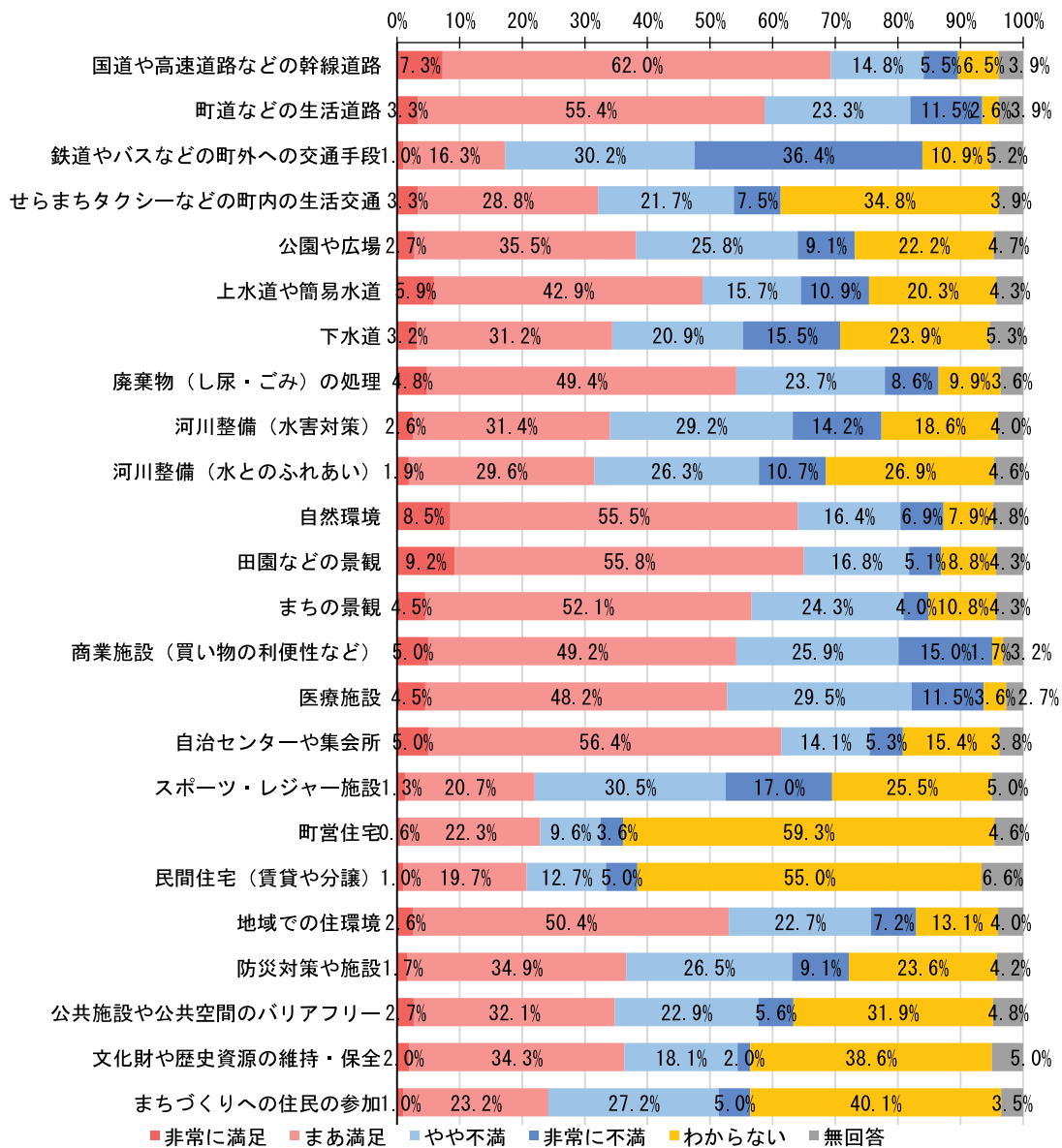
項目	満足度(前回)	満足度(今回)	-0.5	0	0.5
国道や高速道路などの幹線道路	0.522	0.529			
町道などの生活道路	0.292	0.165			
鉄道やバスなどの町外への交通手段	-0.789	-0.892			
せらまちタクシーなどの町内の公共交通	0.145	-0.013			
公園や広場	-0.365	-0.027			
上水道や簡易水道	0.2	0.181			
下水道	-0.325	-0.151			
廃棄物(し尿・ごみ)処理	-0.017	0.184			
河川整備(水害対策)	0.078	-0.219			
河川整備(水とのふれあい)	-0.118	-0.148			
自然環境	0.611	0.448			
田園などの景観	0.685	0.492			
まちの景観	0.353	0.298			
商業施設(買い物の利便性など)	0.351	0.034			
医療施設	0.201	0.049			
自治センターや集会所	0.393	0.434			
スポーツ・レジャー施設	-0.51	-0.431			
町営住宅	0.139	0.069			
民間住宅(賃貸や分譲)	0.046	-0.011			
地域の住環境	0.354	0.191			
防災対策や施設	0.149	-0.063			
公共施設や公共空間のバリアフリー	0.034	0.035			
文化財や歴史資源の維持・保全	0.26	0.168			
まちづくりへの住民の参加	-	-0.125			
平均	0.117	0.05			

+の項目 -の項目
 ■ 前回得点 ■ 今回得点 — 前回平均 - - - 今回平均

各項目の満足度の得点を見ると、「国道や高速道路などの幹線道路」が最も高く、0.529であり、次いで「田園などの景観」が0.492となっています。満足度が最も低いものは「鉄道やバスなどの町外への交通手段」が-0.829であり、次いで「スポーツ・レジャー施設」が-0.431となっています。

前回の結果と比較すると「田園などの景観」や「自然環境」の満足度が低下しています。特に、「河川整備（水害対策）」は前回プラスだった点数がマイナスに低下しています。「公園や広場」や「下水道」が前回より満足度が向上していることがわかります。

各項目の満足度をグラフで見ると、概ね得点化したものと同じ傾向が見られますが、「町営住宅」と「民間住宅（賃貸や分譲）」はわからないと回答した人が多いことがわかります。



■ 世羅町の『将来のイメージ』や『市街地の在り方』についておたずね
します

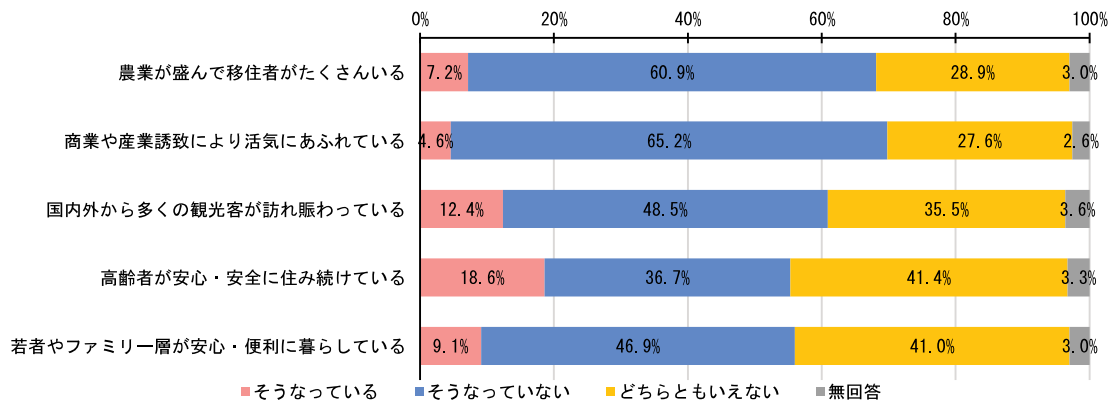
問7) 将来、世羅町はどんなまちになっていると思いますか？

それぞれの項目について、イメージしてみてください。

将来のイメージは、いずれの項目に対しても、「そうならない」が多くなっています。

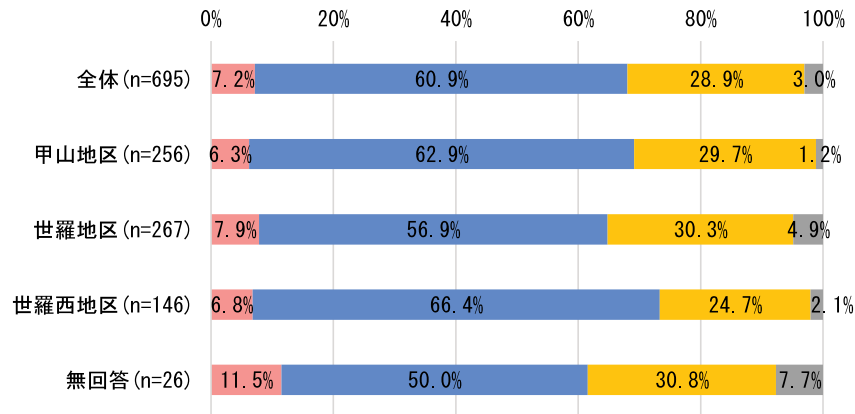
その中で、世羅町の将来像として最もそうっているとイメージされているのは「高齢者が安心・安全に住み続けている」が18.6%、次いで「国内外から多くの観光客が訪れ賑わっている」が、12.4%となっています。

項目 \ 選択肢	【回答数】	そうになっている	そうならない	どちらともいえない	無回答
農業が盛んで移住者がたくさんいる	965 100.0%	50 7.2%	423 60.9%	201 28.9%	21 3.0%
商業や産業誘致により活気にあふれている	965 100.0%	32 4.6%	453 65.2%	192 27.6%	18 2.6%
国内外から多くの観光客が訪れ賑わっている	965 100.0%	86 12.4%	337 48.5%	247 35.5%	25 3.6%
高齢者が安心・安全に住み続けている	965 100.0%	129 18.6%	255 36.7%	288 41.4%	23 3.3%
若者やファミリー層が安心・便利に暮らしている	965 100.0%	63 9.1%	326 46.9%	285 41.0%	21 3.0%

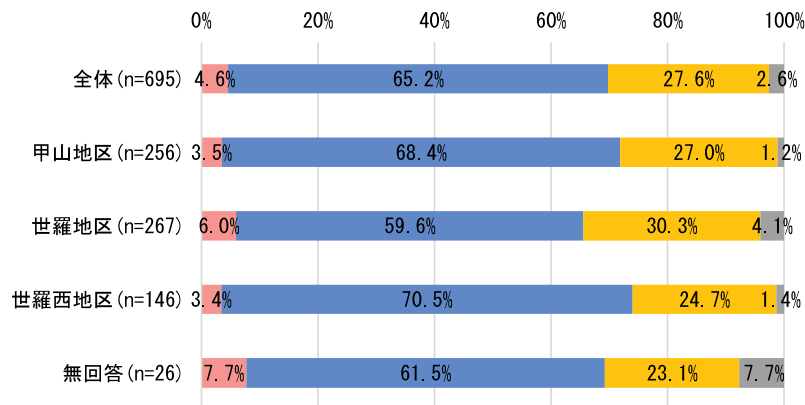


旧三町地域別に比較すると、世羅西地区は他の二地区に比べると「そうっていない」（マイナスイメージ）と回答する人の割合が多い傾向にあります。

反対に、世羅地区は他の二地区に比べると「そうになっている」を選ぶ人が多い傾向にあります。

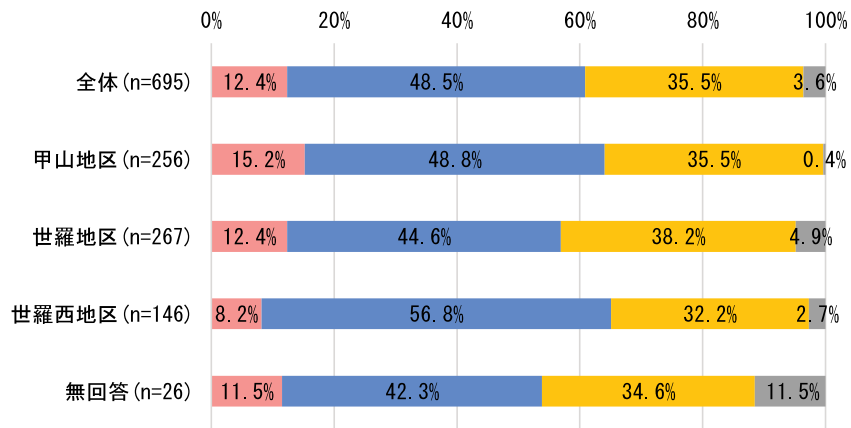


農業が盛んで移住者がたくさんいる

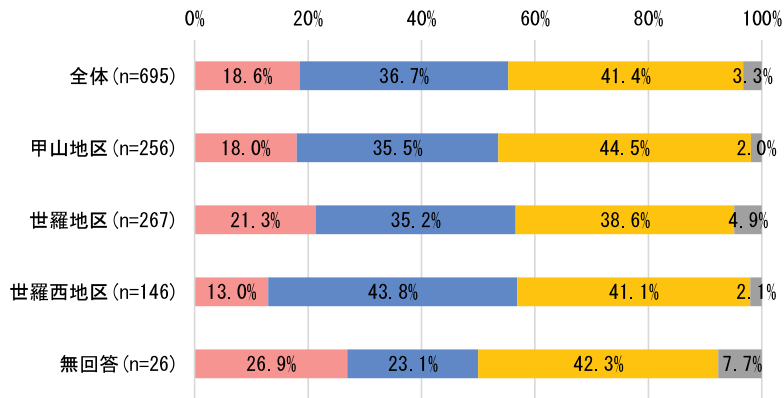


商業や産業誘致により活気にあふれている

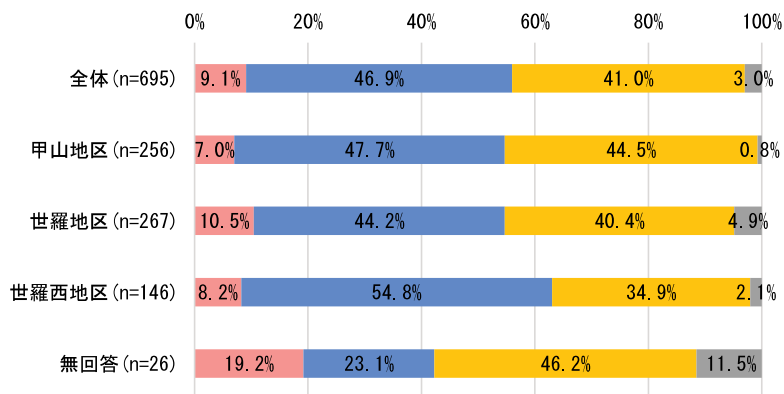
■ そうになっている ■ そうっていない ■ どちらともいえない ■ 無回答



国内外から多くの観光客が訪れ賑わっている



高齢者が安心・安全に住み続けている

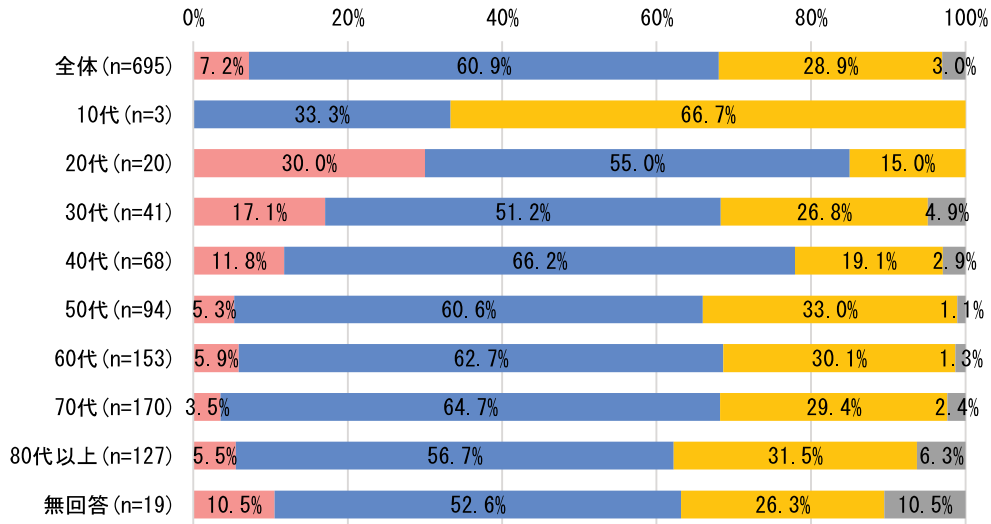


若者やファミリー層が安心・便利に暮らしている

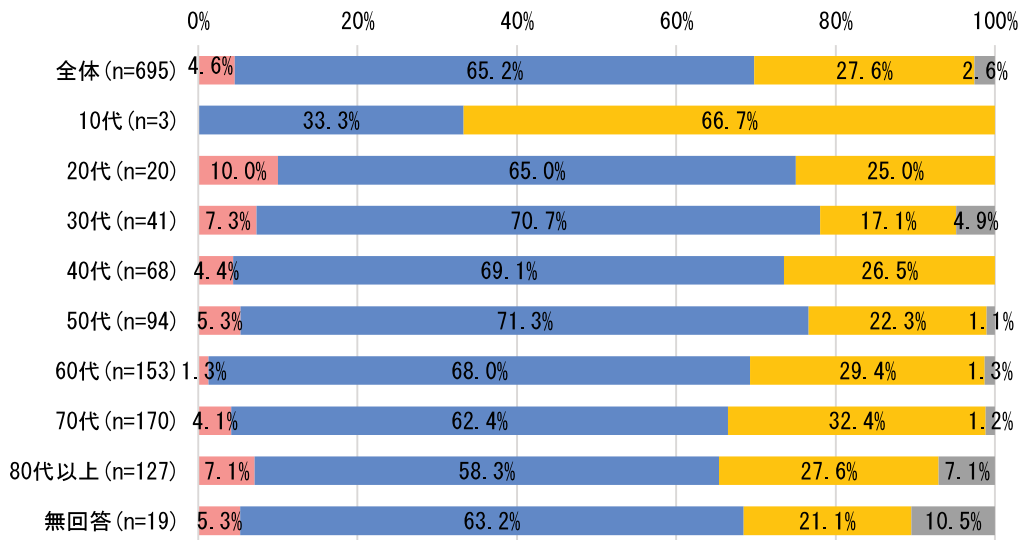
■ そうになっている ■ そうになっていない ■ どちらともいえない ■ 無回答

年代別に比較すると、全体を通して若年層・ファミリー層が他の年代と比較すると将来像に対し「そうになっている」と回答する人が多い傾向にあります。

「若者やファミリー層が安心・便利に暮らしている」に関しては、20代～30代が「そうっていない」と回答する人が他の年代より低く、特徴的な傾向があります。

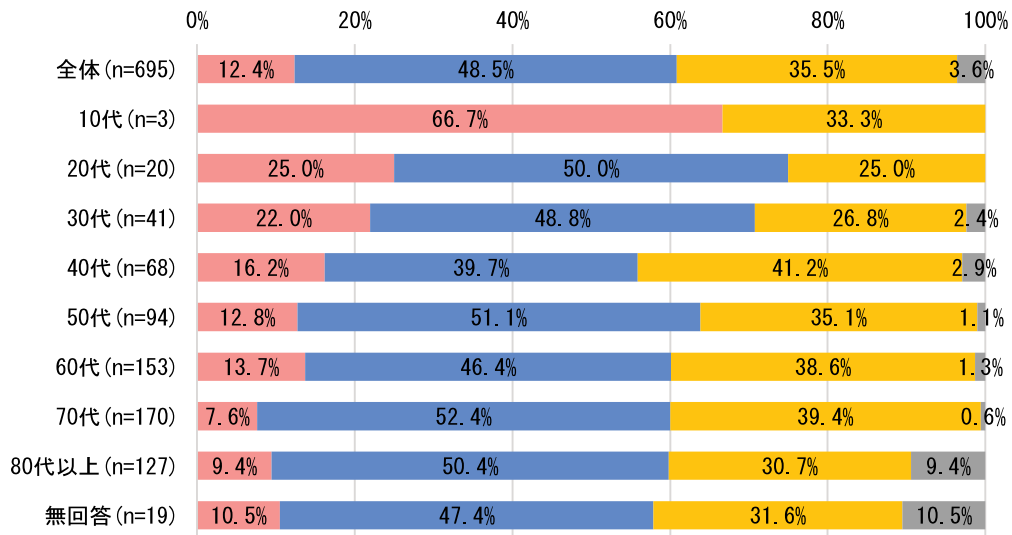


農業が盛んで移住者がたくさんいる

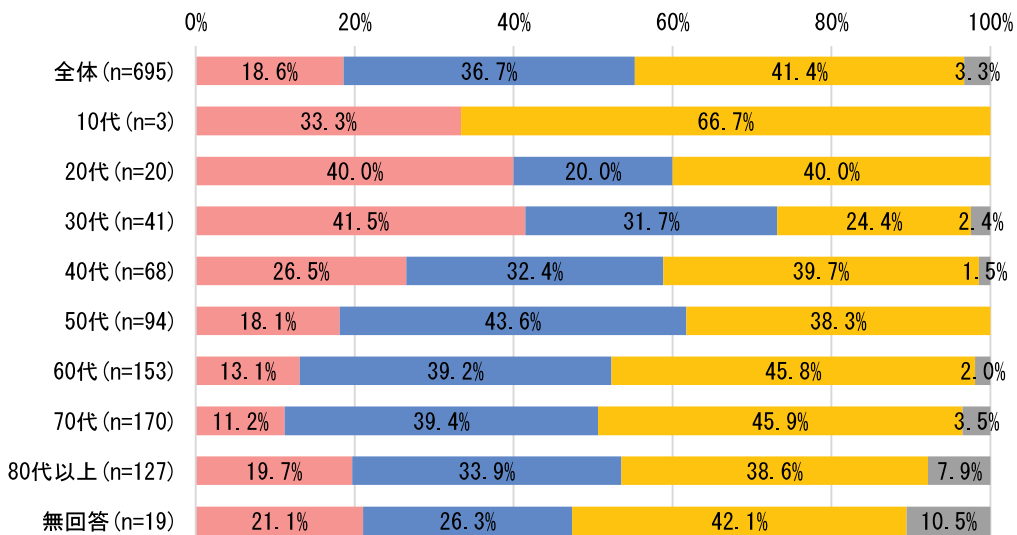


商業や産業誘致により活気にあふれている

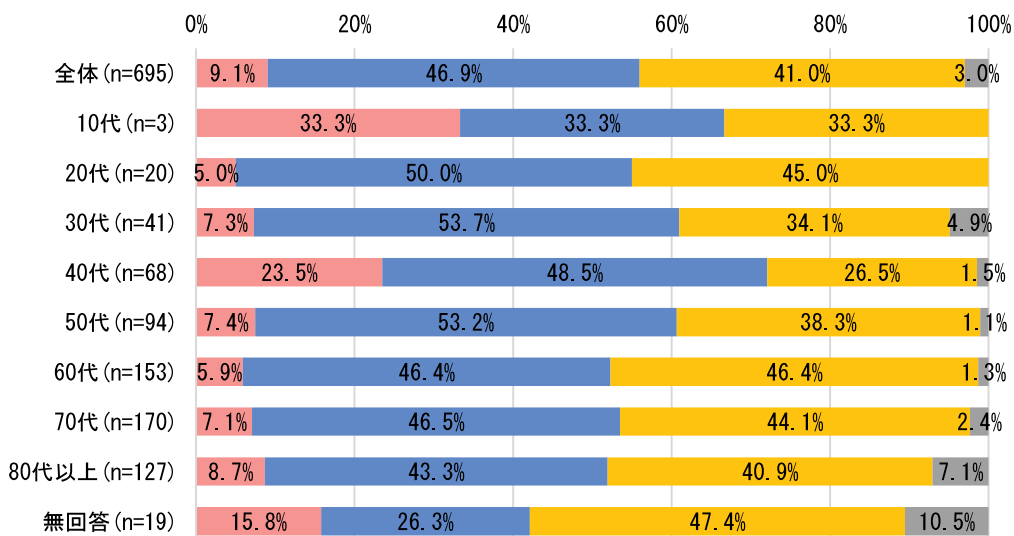
■ そうになっている ■ そうっていない ■ どちらともいえない ■ 無回答



国内外から多くの観光客が訪れ賑わっている



高齢者が安心・安全に住み続けている

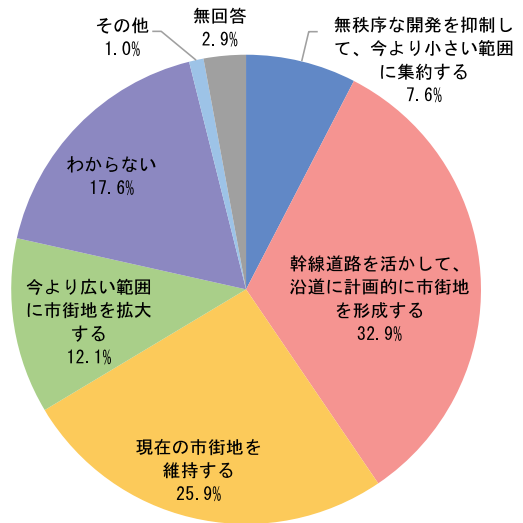


若者やファミリー層が安心・便利に暮らしている

■ そうになっている ■ そうになっていない ■ どちらともいえない ■ 無回答

問8) 世羅町の市街地はどうなってほしいと思われますか？望ましい市街地のあり方を1つ選んでください。

【回答数】	無秩序な開発を抑制して、今より小さい範囲に集約する	幹線道路を活かして、沿道に計画的に市街地を形成する	現在の市街地を維持する	今より広い範囲に市街地を拡大する	わからない	その他	無回答
695	53	229	180	84	122	7	20
100.0%	7.6%	32.9%	25.9%	12.1%	17.6%	1.0%	2.9%

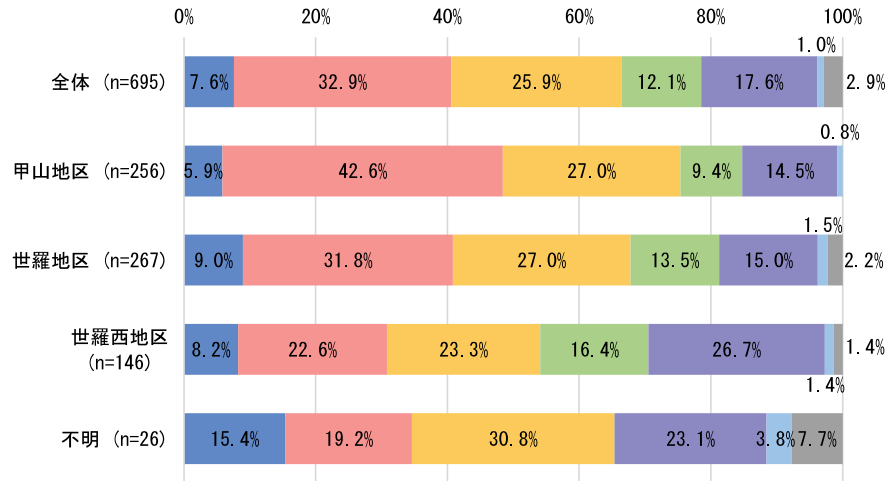


「幹線道路を活かして、沿道に計画的に市街地を形成する」(32.9%)が最も多く、次いで「現在の市街地を維持する」(25.9%)が多くなっています。

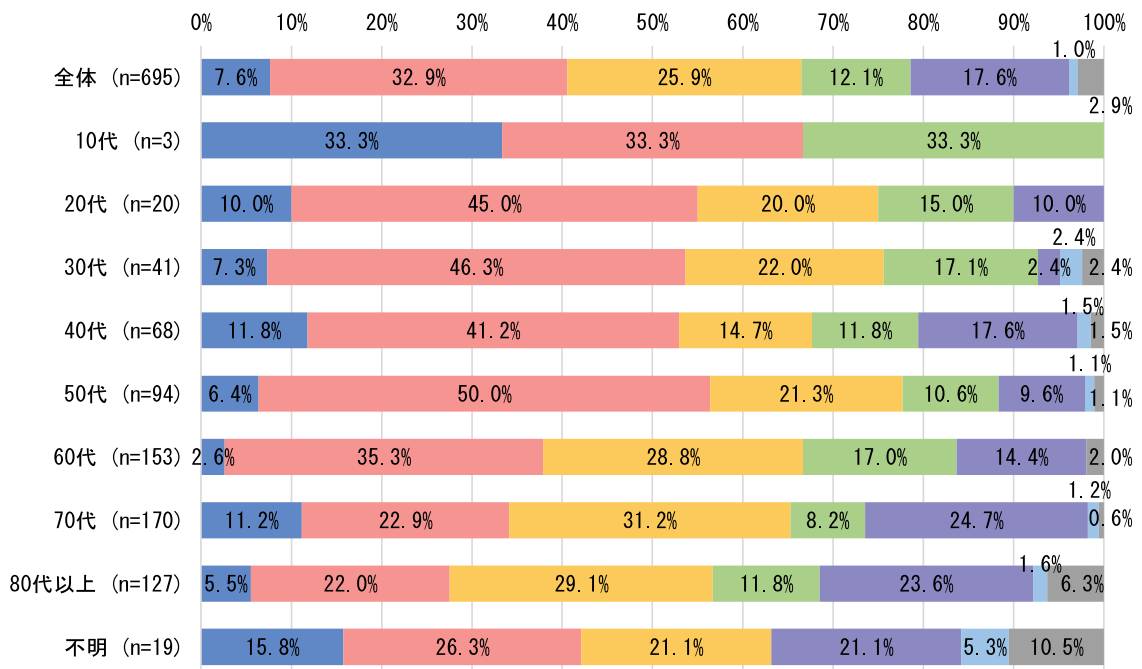
その他の回答については以下の通りです。

- ＜その他の内容＞
- 農産物、花、果物、ワイン等を生かした町
 - 自然に恵まれている町内をあまりつかない方がよい
 - 緑豊かな世羅町を活かした住みやすい町になってほしい
 - 若者が帰ってきたいと思える街作りをした方がよい。
 - 今より小さく機能的な市街地を数十カ所造るか、公共交通を強くし数カ所にしぼる
 - 個人的には田舎に住むのが初めてでもっと便利な方がよいが、元々住んでいる人達にとっては今のままの方がよいと思っている者が多いように感じた。
 - 現状のままでよい
 - その土地の人口を考えよう
 - 住民を呼びこまない

次に地域別に比較すると、「幹線道路を活かして、沿道に計画的に市街地を形成する」が甲山地区で最も多く回答されており、他の地区の割合と比較すると10%以上多くなっています。



次に年代別に見てみると、20代～50代は「幹線道路を活かして、沿道に計画的に市街地を形成する」ことを望んでいる人が40%以上となっています。60代以上は「現在の市街地を維持する」ことを望んでいる人が30%程度と他の年代層に比べ多くなっているなど、若年・ファミリー層と中年層、シニア層とでは傾向が異なることがわかります。

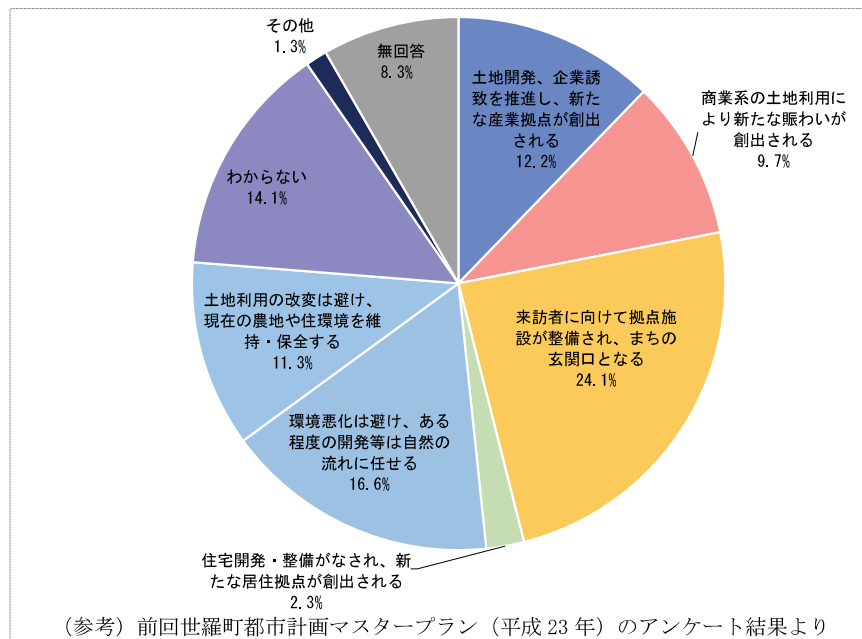
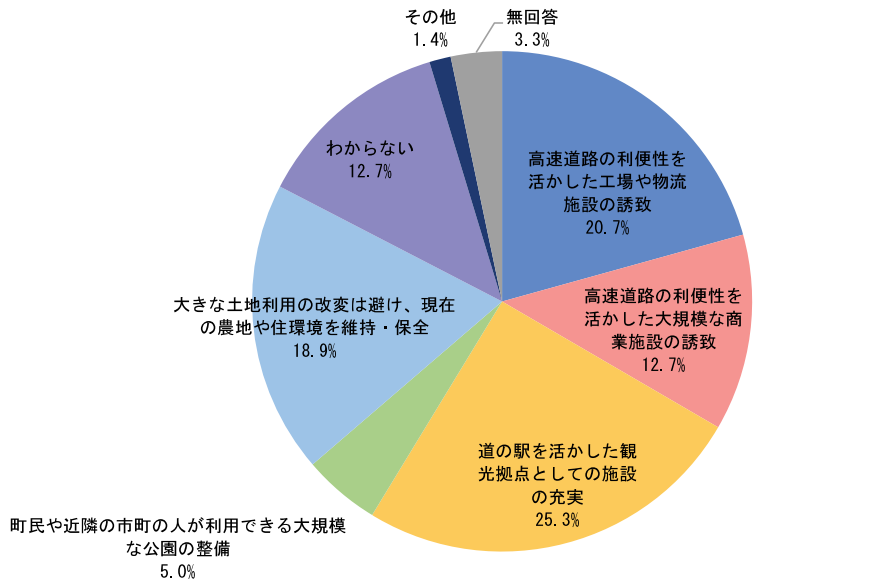


望ましい市街地のあり方

- 無秩序な開発を抑制して、今より小さい範囲に集約する
- 幹線道路を活かして、沿道に計画的に市街地を形成する
- 現在の市街地を維持する
- 今より広い範囲に市街地を拡大する
- わからない
- その他

問9) 中国横断自動車道 尾道松江線の世羅インターチェンジ周辺に関してあなたの思う望ましい土地利用のあり方を1つ選んでください。

	物流施設の誘致	高速道路の利便性を活かした工場や商業施設の誘致	高速道路の利便性を活かした大規模な商業施設の誘致	道の駅を活かした観光拠点としての施設の充実	町民や近隣の市町の人々が利用できる大規模な公園の整備	大きな土地利用の改変は避け、現在の農地や住環境を維持・保全	わからない	その他	無回答
965	144	88	176	35	131	88	10	23	
100.0%	20.7%	12.7%	25.3%	5.0%	18.9%	12.7%	1.4%	3.3%	



世羅インターチェンジ周辺の望ましい土地のあり方として、最も多かったのは「道の駅を活かした観光拠点としての施設の充実」を回答した人が25.3%、次いで「高速道路の利便性を活かした工場や物流施設の誘致」が20.7%となっています。

もっとも低かったのは「町民や近隣の市町の人々が利用できる大規模な公園の整備」が5.0%でした。

前回のアンケート結果と比較すると、企業誘致や来訪者に向けての拠点の整備など、概ね同じ傾向がみられるものの、自然環境や農地・住環境の維持・保全は減少傾向にあることがわかります。

その他の回答については以下の通りです。

<その他の内容>

若者が世羅町で仕事ができる。工場、商業施設 世羅町の人口をふやすことが第一だと思う。

若い人達の他出を防ぎ町内への移住者を増やす

世羅町が運営する商業施設や観光拠点を。外から入る物は世羅にお金を求めるだけで、それ以外はない為世羅町が造る。

道の駅を活かした観光拠点のターミナル的役目を強化する

道の駅は、あまり魅力がない（高い）ワイナリーのとんどに行っただが値段が高いのでお得感がない。サービス精神がまるでなかった！

道の駅の場所の選定に間違いがある

尾道・松江高速バスの復活

安心できる農地や住環境を

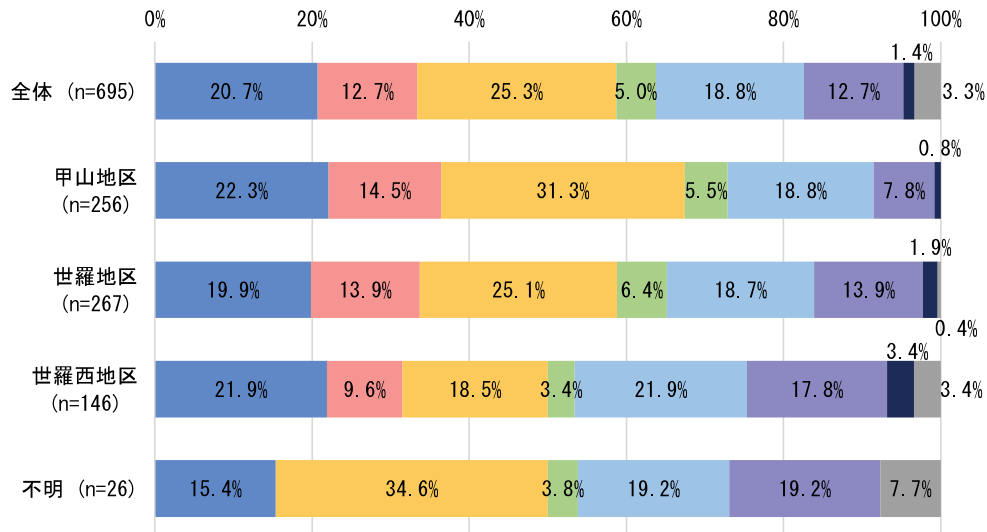
町内の農産物のハンバイが必要

人口減少は必ずでしょう。高齢化社会に合った町を。町の負担を減らす事は、高齢者の集約（医療、食、文化、行政） これらの近くに居住させるべく建物（介護がいらない人が自立できるように）

誘致しさえすればよいと云うものでもない。あまりつつくな。いずれ町に大バチが当たる時がくる

世羅西部も少し考えてほしい。東部だけではないと思う。

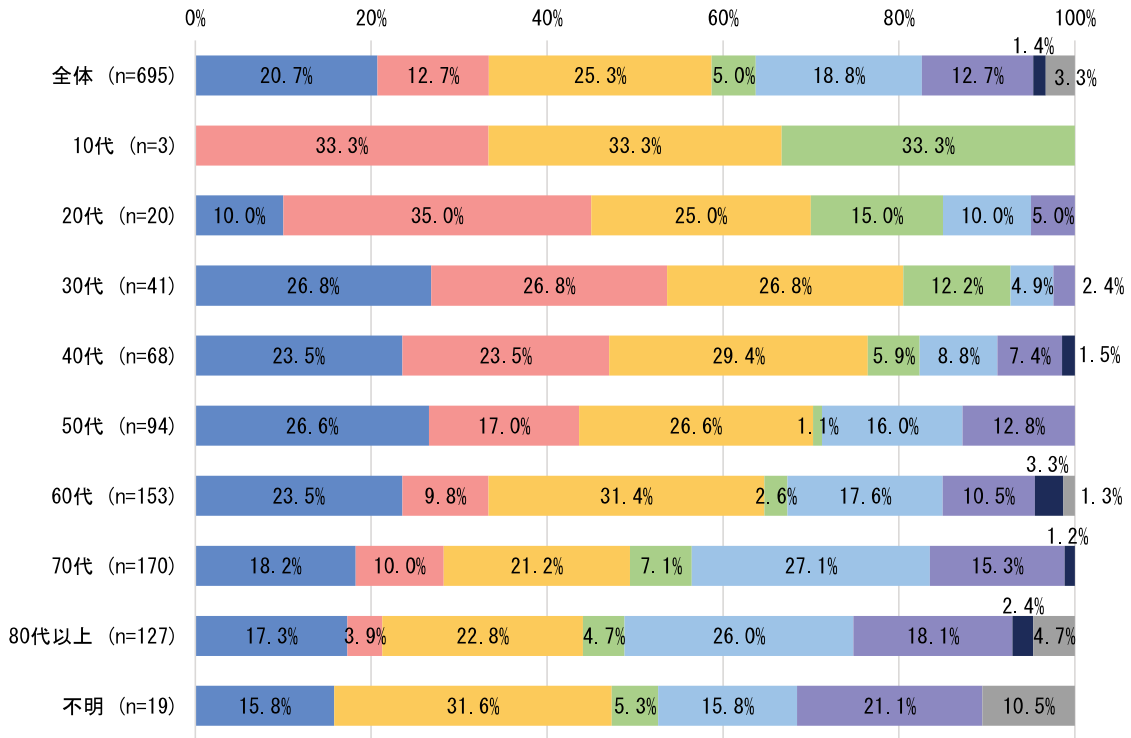
次に地域別に見てみると、「道の駅を活かした観光拠点としての施設の充実」を最も多く回答したのは甲山地区で、最も少ないのは世羅西地区で、「高速道路の利便性を活かした工場や物流施設の誘致」や「大きな土地利用の改変は避け、現在の農地や住環境を維持・保全」より低い割合となっています。



世羅インターチェンジ周辺の
望ましい土地利用

- 高速道路の利便性を活かした工場や物流施設の誘致
- 高速道路の利便性を活かした大規模な商業施設の誘致
- 道の駅を活かした観光拠点としての施設の充実
- 町民や近隣の市町の人々が利用できる大規模な公園の整備
- 大きな土地利用の改変は避け、現在の農地や住環境を維持・保全
- わからない
- その他
- 無回答

年代別に見てみると、若い世代ほど「高速道路の利便性を活かした大規模な商業施設の誘致」の割合が多く、年代が上がっていくにつれて割合が減少していく傾向にあります。反対に、「大きな土地利用の改変は避け、現在の農地や住環境を維持・保全」は年代が下がるにつれて割合が減少していく傾向にあります。



世羅インターチェンジ周辺の
望ましい土地利用

- 高速道路の利便性を活かした工場や物流施設の誘致
- 高速道路の利便性を活かした大規模な商業施設の誘致
- 道の駅を活かした観光拠点としての施設の充実
- 町民や近隣の市町の人々が利用できる大規模な公園の整備
- 大きな土地利用の改変は避け、現在の農地や住環境を維持・保全
- わからない
- その他
- 無回答

■ これからの世羅町に必要な『取り組み』についておたずねします

問 10) 世羅町の将来のイメージを実現するために必要な取り組みは何ですか？それぞれの項目について、重要度を評価してください。

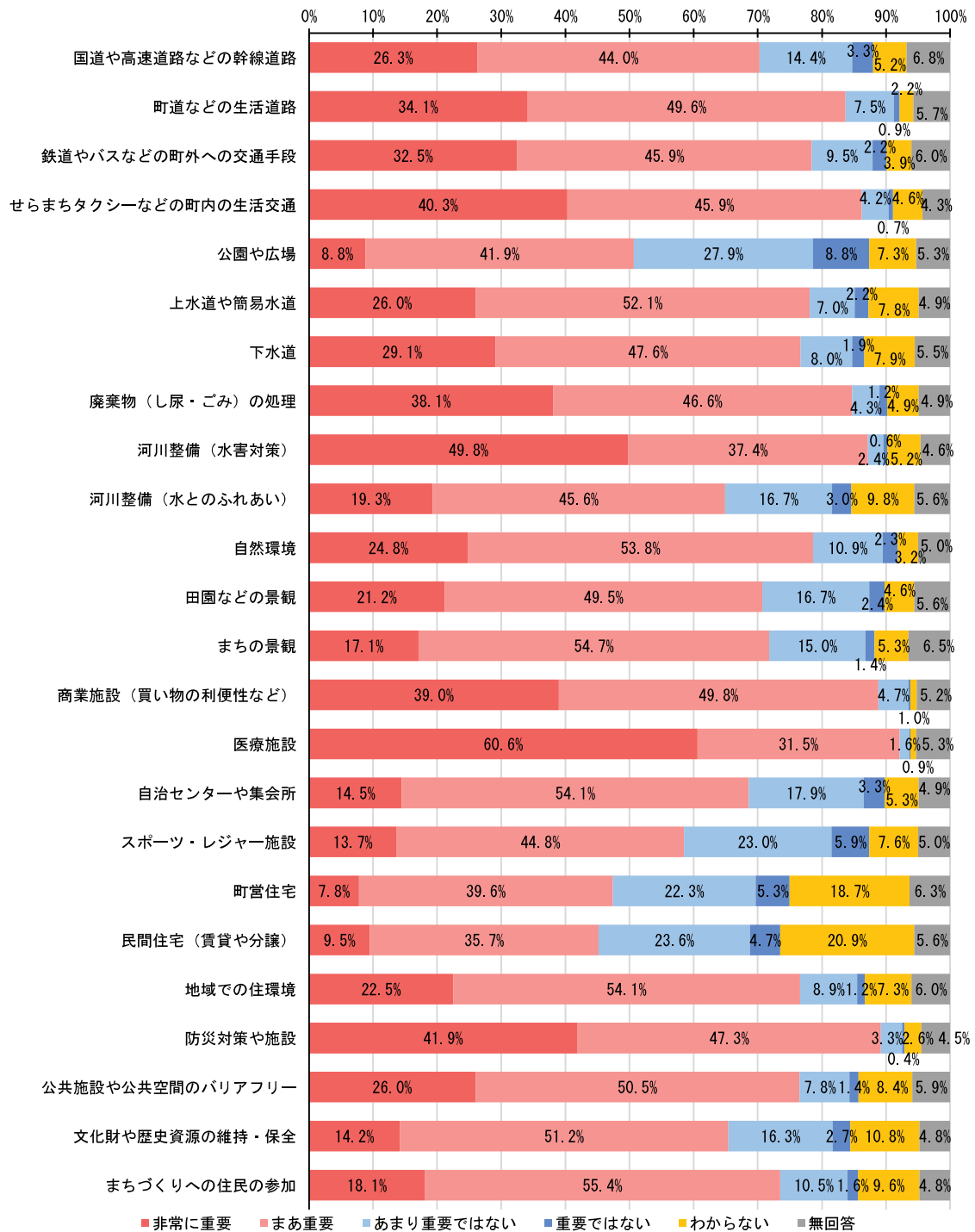
重要度について、「重要：2点」、「やや重要：1点」、「どちらでもない：0点」、「あまり重要でない：-1点」、「重要でない：-2点」とし、合計得点を算出し、重要度を算出しました。

この結果、いずれの項目も0を超え、重要あるいはやや重要と考えられていることがわかります。また、満足度の低かった「鉄道やバスなどの町外への交通手段」に比して、「医療施設」や「河川整備（水害対策）」が重要視されています。



項目の重要度をグラフで見ると、住宅に関する事項や公園や広場に関する事項以外はほとんど重要度が70%程度あることがわかります。

特に点数の高い「商業施設」「河川整備（水害対策）」に関しては「非常に重要」を選ぶ割合が高いことがわかります。



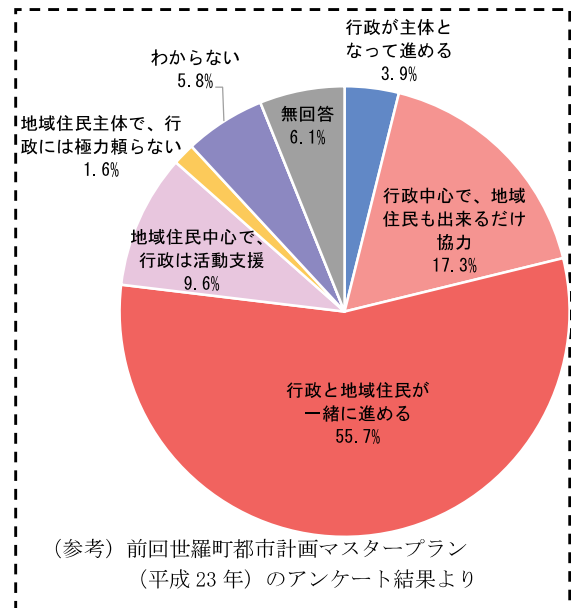
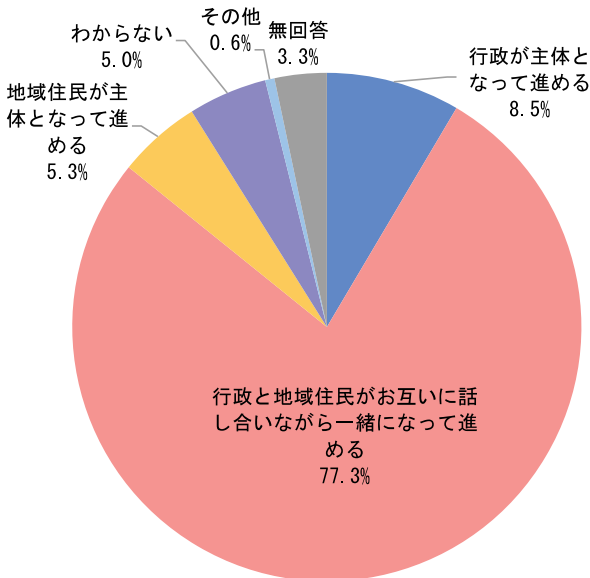
■ これからの世羅町の『まちづくりの進め方』についておたずねします

問 11) あなたのお住まいの地域で、より良いまちづくりを進めるためには、どのようなやり方が望ましいと思われますか？

まちづくりの進め方として「行政と地域住民がお互いに話し合いながら一緒になって進める」と回答した人が最も多く、77.3%となっています。

前回と比較しても同様の傾向となっており、住民の共同意識は高いといえます。

【回答数】	行政が主体となって進める	行政と地域住民がお互いに話し合いながら一緒になって進める	地域住民が主体となって進める	わからない	その他	無回答
695	59	537	37	35	4	23
100.0%	8.5%	77.3%	5.3%	5.0%	0.6%	3.3%



その他の回答については以下の通りです。

<その他の内容>

行政は側面的に補助

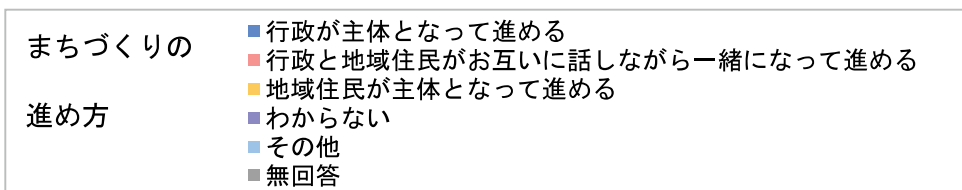
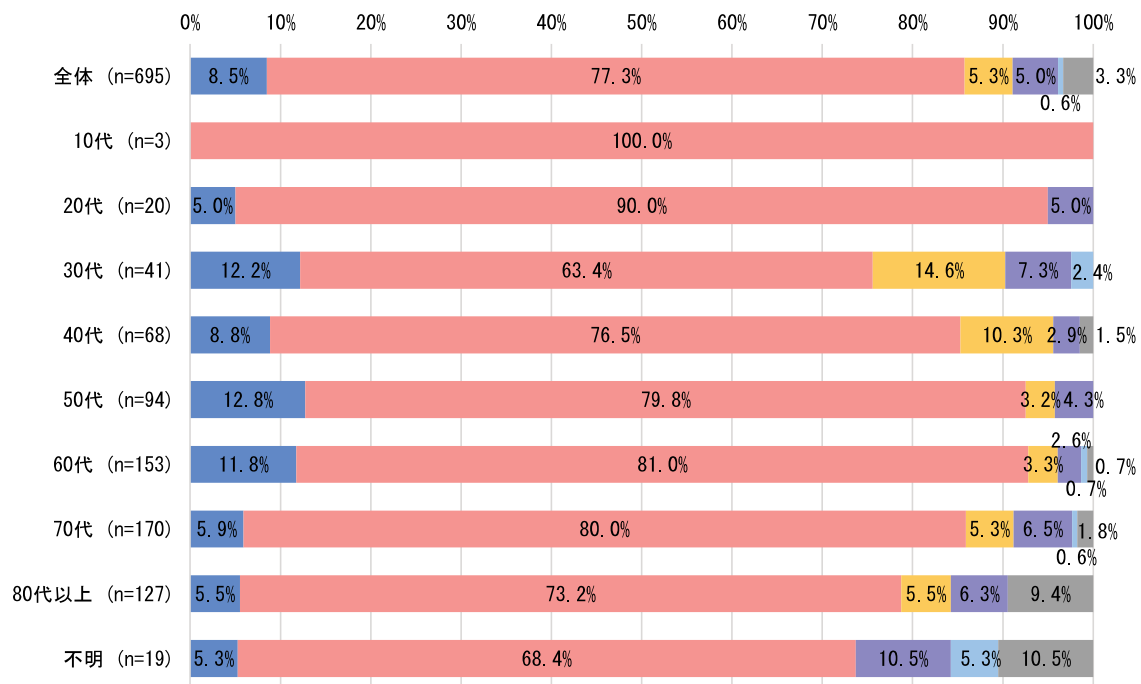
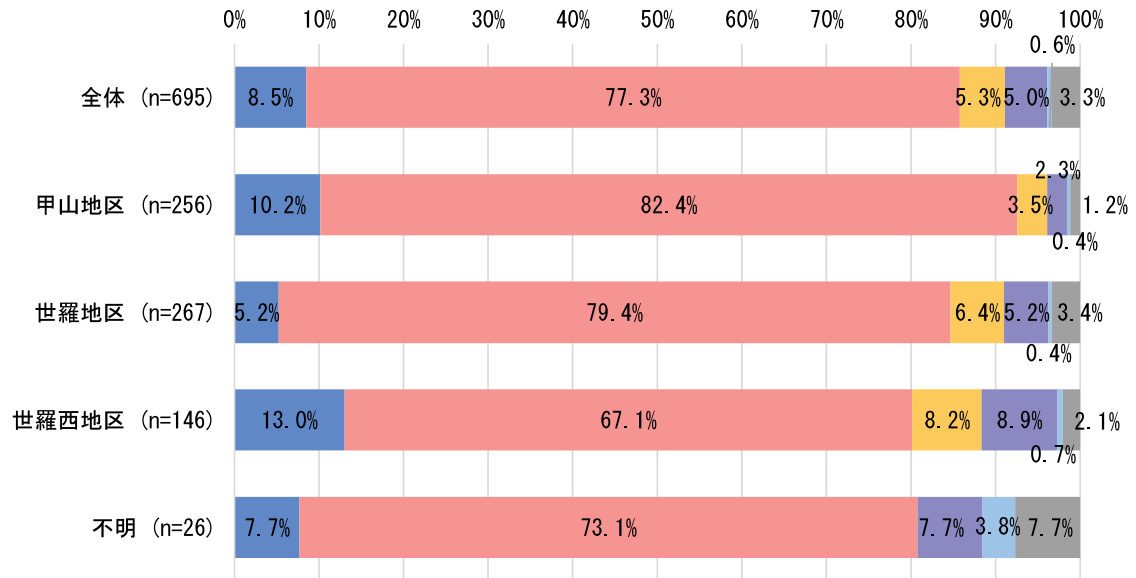
その道の専門家を交えて行政が進める

町長が変わる

1 と 2、そして企業が主体となって進める

1 人でいいので優秀な TOP に引っ張って欲しい。船頭は多くはほらない。

地域別・年代別にみても同様であり、どの地域・世代においても「行政と地域住民が一緒に進める」が他の選択肢と比較して圧倒的に多くなっており、住民の協働意識が高いことがうかがえます。

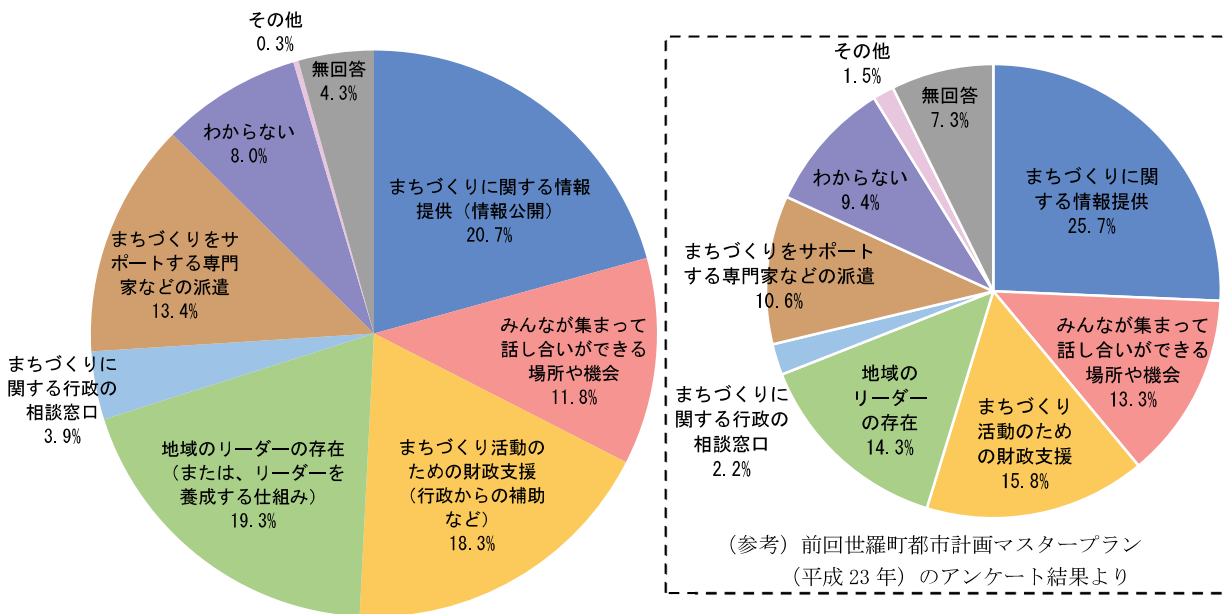


問 12) まちづくりに参加しようとしたときに、何が必要だと思われますか？ご自身が参加できない場合でも、お考えをお聞かせください。

「まちづくりに関する情報提供（情報公開）」が最も多く 20.7%であり、次いで、「地域のリーダーの存在（または、リーダーを養成する仕組み）」が 19.3%、「まちづくり活動のための財政支援（行政からの補助など）」が 18.3%となっています。

前回と比較すると「地域のリーダーの存在」が「財政支援」より必要とされていることがわかります。

【回答数】	1.まちづくりに関する情報提供（情報公開）	2.みんなが集まって話し合いができる場所や機会	3.まちづくり活動のための財政支援（行政からの補助など）	4.地域のリーダーの存在（または、リーダーを養成する仕組み）	5.まちづくりに関する行政の相談窓口	6.まちづくりをサポートする専門家などの派遣	7.わからない	8.その他	無回答
695	144	82	127	134	27	93	56	2	30
100.0%	20.7%	11.8%	18.3%	19.3%	3.9%	13.4%	8.0%	0.3%	4.2%

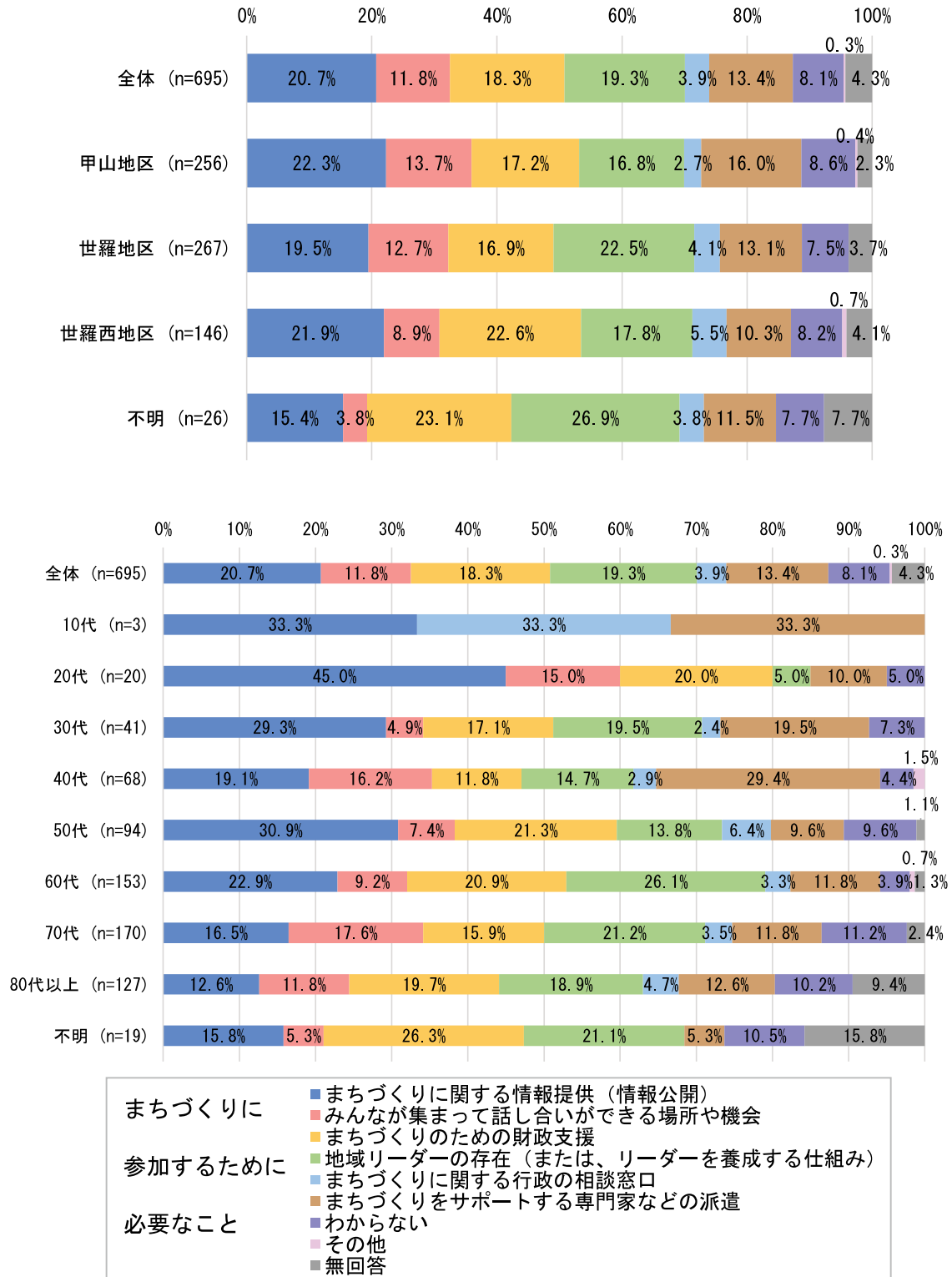


その他の回答については以下の通りです。

<その他の内容>
 4 と同じですが町がお金を出し仕事をする。議員さんの仕事を分割。
 1, 2, 6 が必要

地域別でみると、世羅西地区が他の地区と比較すると「まちづくり活動のための財政支援（行政からの補助など）」の割合が高いことが特徴です。

年代別ではそれぞれの年代で必要と感ずるものが異なることがうかがえます。



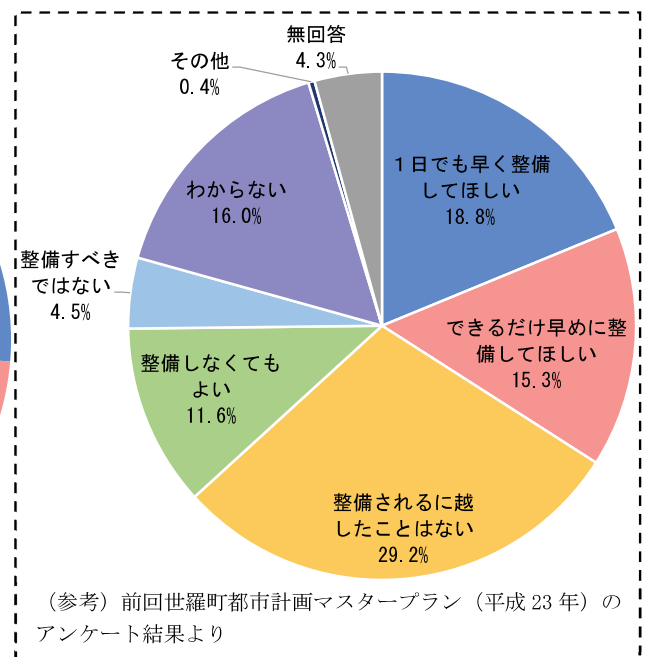
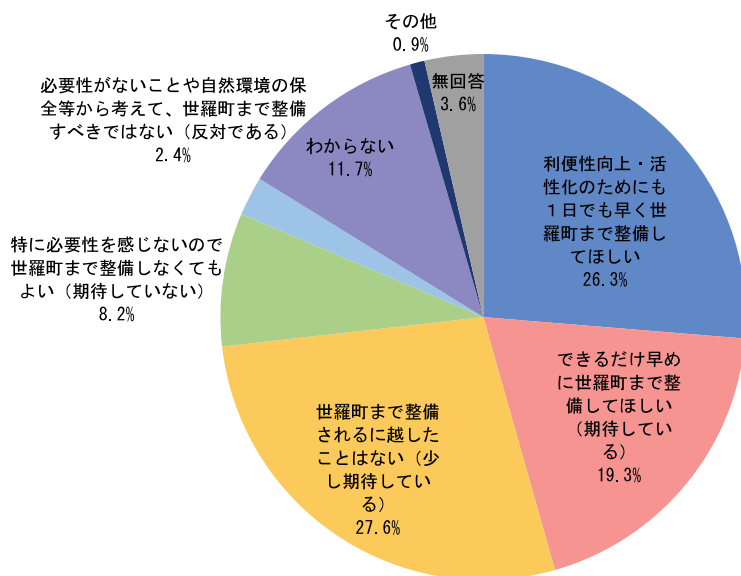
問13) 「広島中央フライトロード」の整備についてどう思われますか？あなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

「世羅町まで整備されるに越したことはない（少し期待している）」が最も多く 27.6% であり、次いで、「利便性向上・活性化のためにも1日でも早く世羅町まで整備してほしい」が 26.3%、「できるだけ早めに世羅町まで整備してほしい（期待している）」が 19.3% となっています。整備要望としては、「1日でも早く・・・」、「できるだけ早めに・・・」、「・・・越したことはない」の3回答を加えると 73.2%もの高い割合となっています。

一方、整備に対して否定的な「・・・しなくてもよい」、「・・・すべきでない」は 10.6%と低い割合となっています。

前回と比較しても傾向はほぼ同じで、前回と比較すると若干肯定的な意見が増加しています。

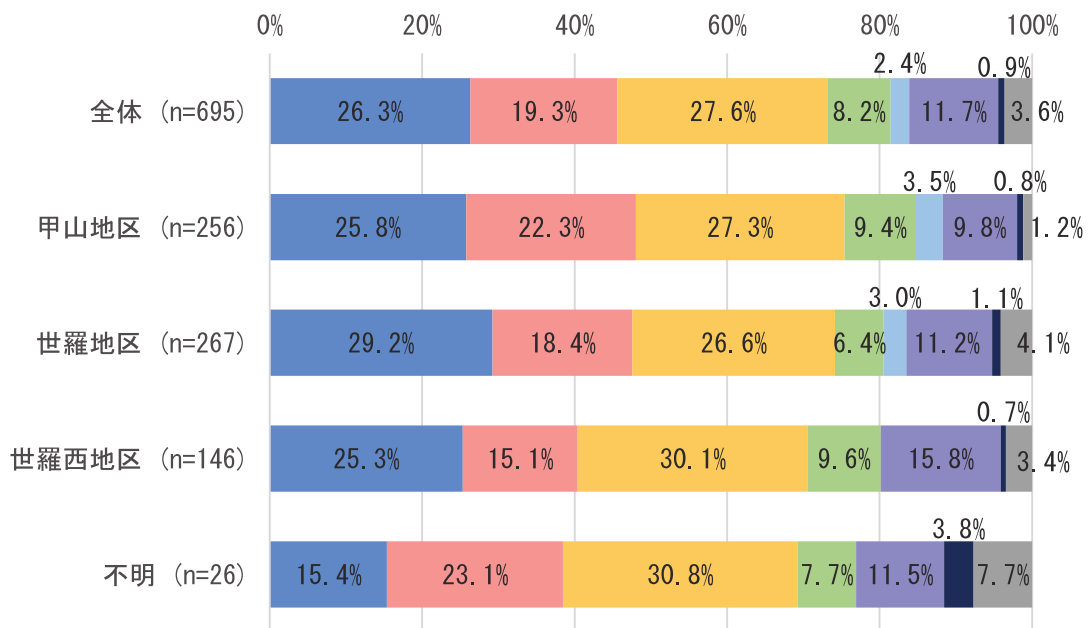
【回答数】	世羅町まで整備されるに越したことはない（少し期待している）	利便性向上・活性化のためにも1日でも早く世羅町まで整備してほしい	できるだけ早めに世羅町まで整備してほしい（期待している）	特に必要性を感じないので世羅町まで整備しなくてもよい（期待していない）	必要性がないことや自然環境の保全等から考えて、世羅町まで整備すべきではない（反対である）	わからない	その他	無回答
695	192	183	134	57	17	81	6	25
100.0	27.6%	26.3%	19.3%	8.2%	2.4%	11.7%	0.9%	3.6%



その他の回答については以下の通りです。

<その他の内容>
 世羅町まででなく、三次・庄原まで加えて整備すべき
 尾道松江線から分岐する路線となるなら期待する
 自然環境の保全をしながら世羅町まで整備される事が出来れば良いと思っています。
 利用頻度が少ないのであるに越したことはないが、あまり期待していない。現在の県・町の財政状況では整備困難と思われる。
 「広島中央フライトロード」の事がよくわからない
 広島中央フライトロードの意味わからない？

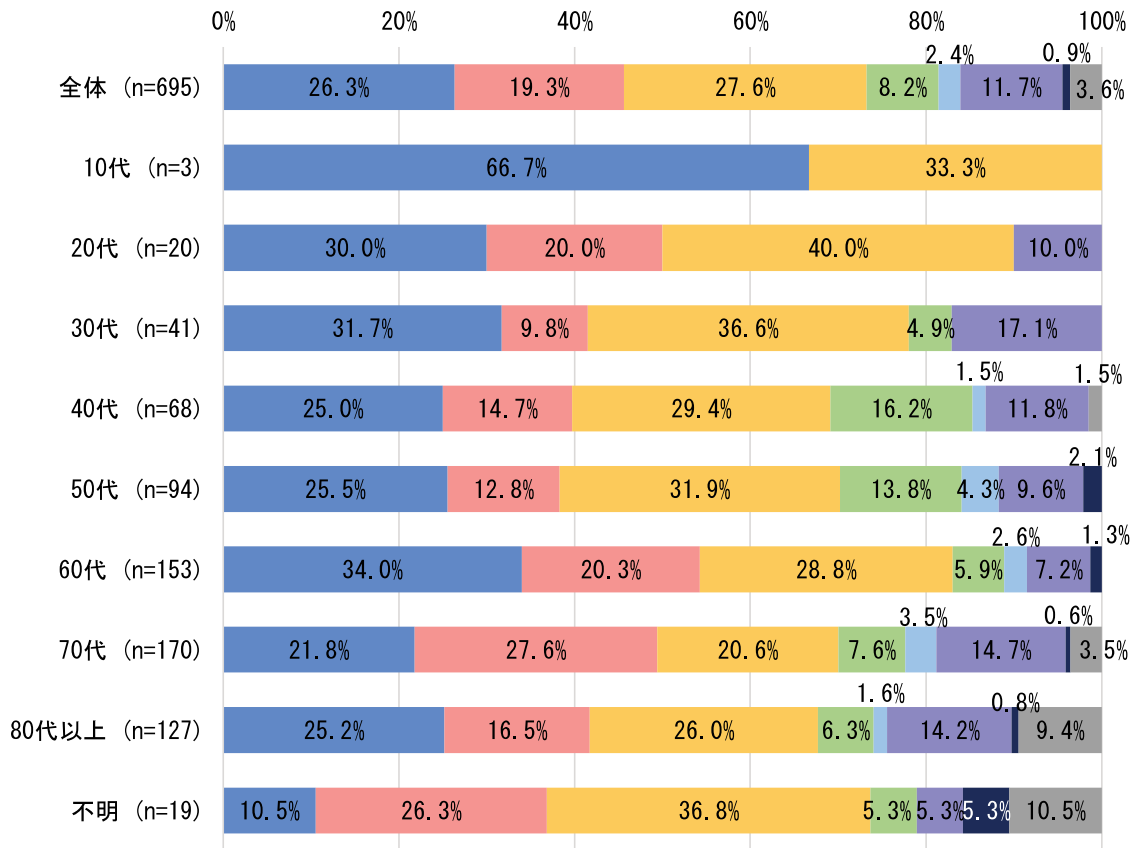
地域別にみると、回答傾向に若干のバラツキはあるものの概ね全体での傾向と同様です。



**広島中央
フライトロード
の整備について**

- 利便性向上・活性化のためにも一日でも早く世羅町まで整備してほしい
- できるだけ早めに世羅町まで整備してほしい（期待している）
- 世羅町まで整備されるに越したことはない（少し期待している）
- 特に必要性を感じないので世羅町まで整備しなくてもよい（期待していない）
- 必要性がないことや自然環境の保全等から考えて、世羅町まで整備すべきではない（反対である）
- わからない
- その他
- 無回答

年代別にみると、年代が上がるほど否定的な意見が増える傾向があります。

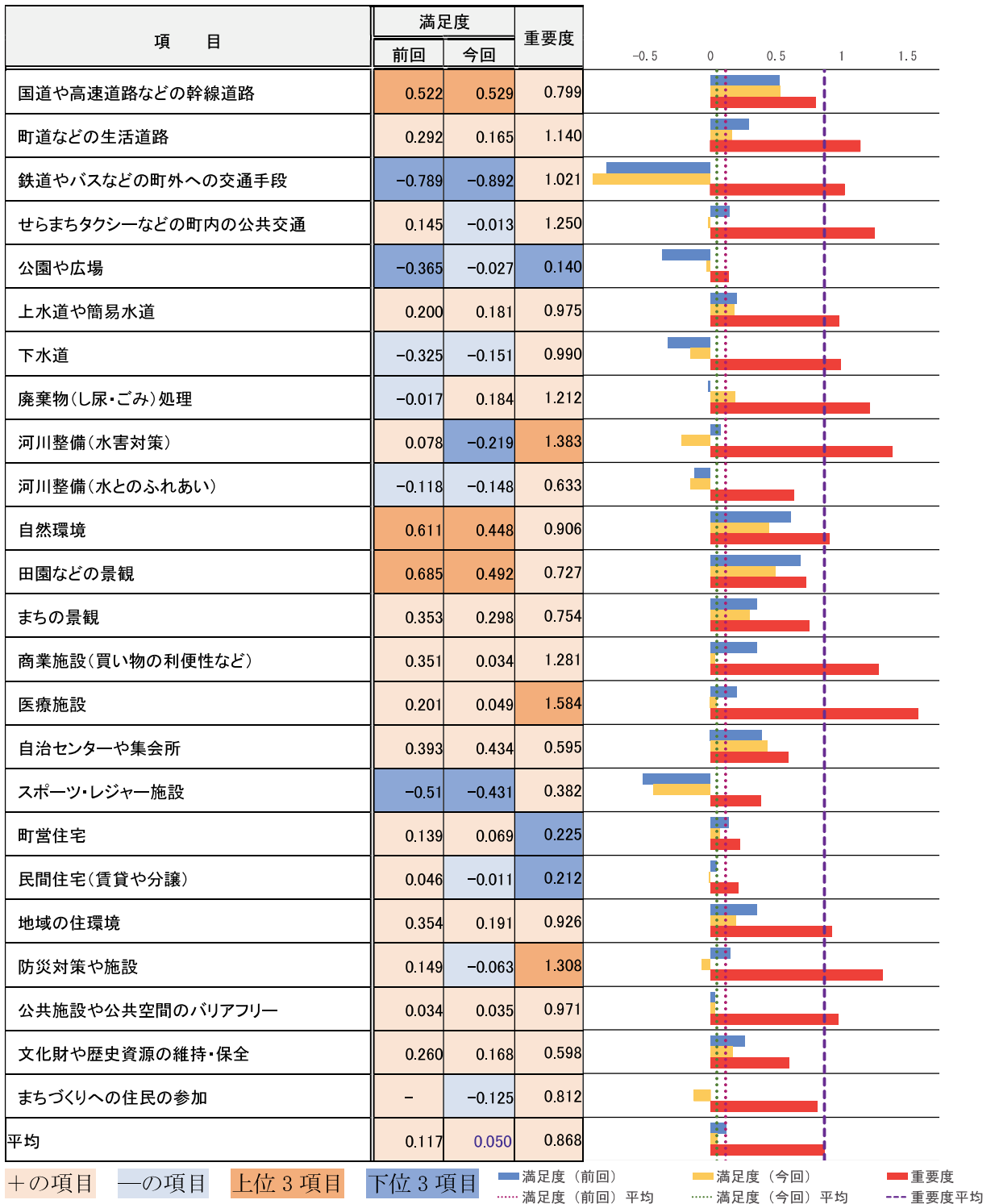


広島中央
フライトロード
の整備について

- 利便性向上・活性化のためにも一日でも早く世羅町まで整備してほしい
- できるだけ早めに世羅町まで整備してほしい（期待している）
- 世羅町まで整備されるに越したことはない（少し期待している）
- 特に必要性を感じないので世羅町まで整備しなくてもよい（期待していない）
- 必要性がないことや自然環境の保全等から考えて、世羅町まで整備すべきではない（反対である）
- わからない
- その他
- 無回答

■満足度と重要度の関係性

本町が行う取り組みについて、現状の満足度と今後のまちづくりを行う上での重要度をそれぞれ数値化し、横軸に満足度、縦軸に重要度を示す分布図を作成し、分析を行いました。



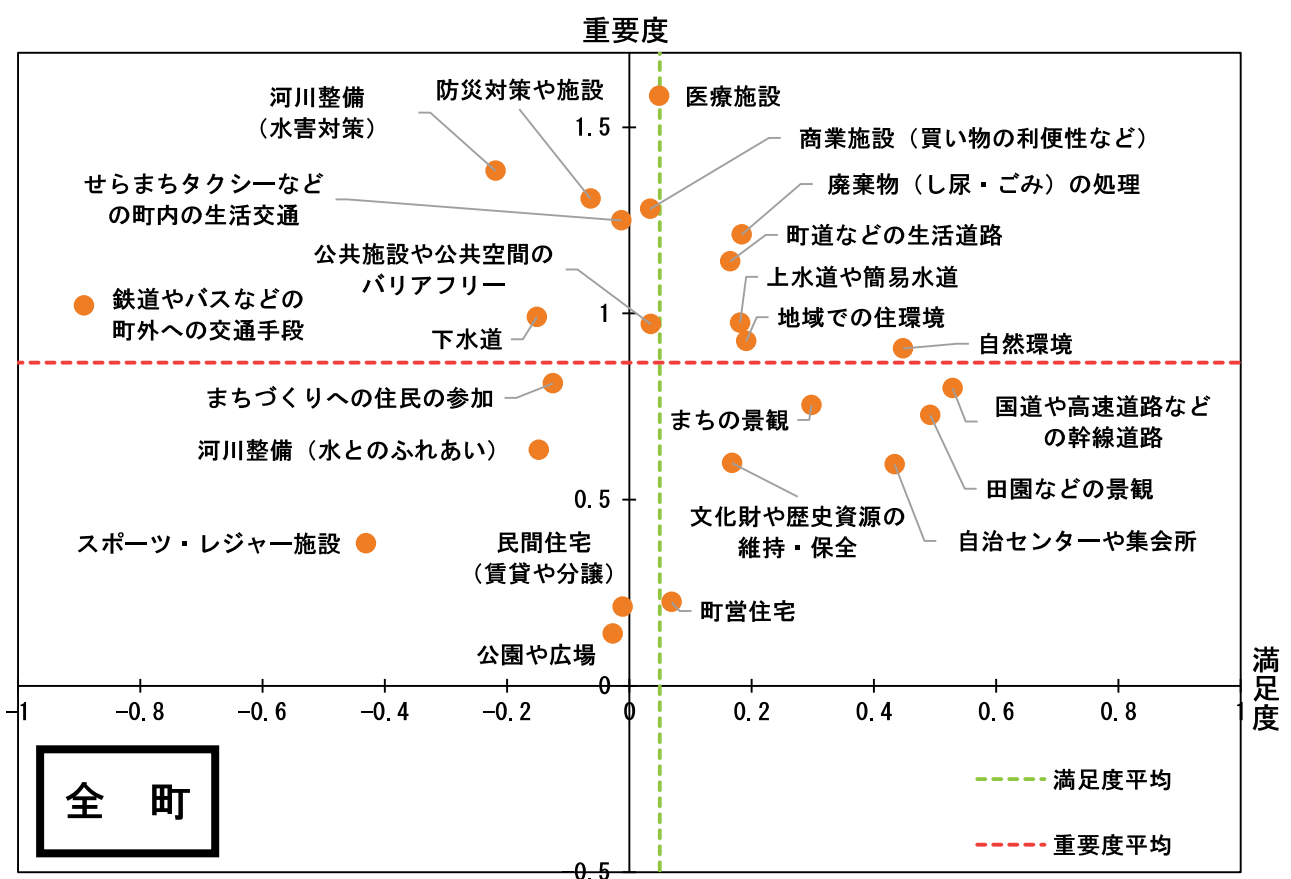
分野	満足度					重要度				
	全体	地域別				全体	地域別			
		甲山 地区	世羅 地区	世羅西 地区	不明		甲山 地区	世羅 地区	世羅西 地区	不明
国道や高速道路などの幹線道路	0.529	0.735	0.533	0.126	0.609	0.799	0.918	0.798	0.640	0.864
町道などの生活道路	0.165	0.270	0.100	0.057	0.182	1.140	1.153	1.109	1.212	1.273
鉄道やバスなどの町外への交通手段	-0.892	-0.818	-0.829	-1.212	-0.391	1.021	1.121	0.955	1.007	1.000
せらまちタクシーなどの町内の生活交通	-0.013	0.000	0.043	-0.201	0.391	1.250	1.283	1.213	1.336	1.217
公園や広場	-0.027	-0.089	0.039	-0.108	0.318	0.140	0.237	0.149	0.051	-0.261
上水道や簡易水道	0.181	-0.108	0.327	0.355	0.636	0.975	1.028	0.908	0.993	0.955
下水道	-0.151	-0.129	-0.163	-0.252	0.375	0.990	1.037	0.984	0.950	0.909
廃棄物(し尿・ごみ)の処理	0.184	0.220	0.153	0.108	0.565	1.212	1.276	1.221	1.130	1.227
河川整備(水害対策)	-0.219	-0.255	-0.203	-0.268	0.273	1.383	1.468	1.369	1.360	1.182
河川整備(水とのふれあい)	-0.148	-0.156	-0.162	-0.209	0.364	0.633	0.685	0.625	0.659	0.5
自然環境	0.448	0.408	0.525	0.302	0.727	0.906	0.847	1.02	0.934	0.636
田園などの景観	0.492	0.512	0.568	0.307	0.391	0.727	0.665	0.821	0.732	0.818
まちの景観	0.298	0.390	0.292	0.150	0.435	0.754	0.709	0.839	0.737	0.636
商業施設(買い物の利便性など)	0.034	0.096	0.355	-0.738	0.545	1.281	1.288	1.306	1.294	1.045
医療施設	0.049	0.150	0.220	-0.511	0.391	1.584	1.61	1.575	1.570	1.619
自治センターや集会所	0.434	0.455	0.525	0.165	0.667	0.595	0.619	0.567	0.766	0.261
スポーツ・レジャー施設	-0.431	-0.530	-0.331	-0.464	0.100	0.382	0.397	0.47	0.297	0.045
町営住宅	0.069	0.136	0.031	0.000	0.182	0.225	0.305	0.183	0.246	-0.045
民間住宅(賃貸や分譲)	-0.011	-0.004	0.031	-0.111	0.190	0.212	0.289	0.215	0.180	0.048
地域での住環境	0.191	0.230	0.232	0.014	0.455	0.926	0.984	0.94	0.869	0.773
防災対策や施設	-0.063	-0.024	0.023	-0.319	0.087	1.308	1.367	1.31	1.317	1.182
公共施設や公共空間のバリアフリー	0.035	-0.004	0.083	-0.029	0.348	0.971	0.984	1.028	0.904	0.727
文化財や歴史資源の維持・保全	0.168	0.201	0.153	0.119	0.333	0.598	0.633	0.69	0.511	0
まちづくりへの住民の参加	-0.125	-0.168	-0.107	-0.159	0.364	0.812	0.792	0.901	0.768	0.476

+の項目
 -の項目
 +上位3項目
 +下位3項目

全町の重要度と満足度の関係性を見ると、「鉄道やバスなどの町外への交通手段」や「せらまちタクシーなどの町内の生活交通」などの交通手段に関する項目に関しては重要度が高く、満足度が低い傾向にあります。

「河川整備（水害対策）」や「防災対策や施設」の防災に関する項目は特に重要度が高い傾向があります。

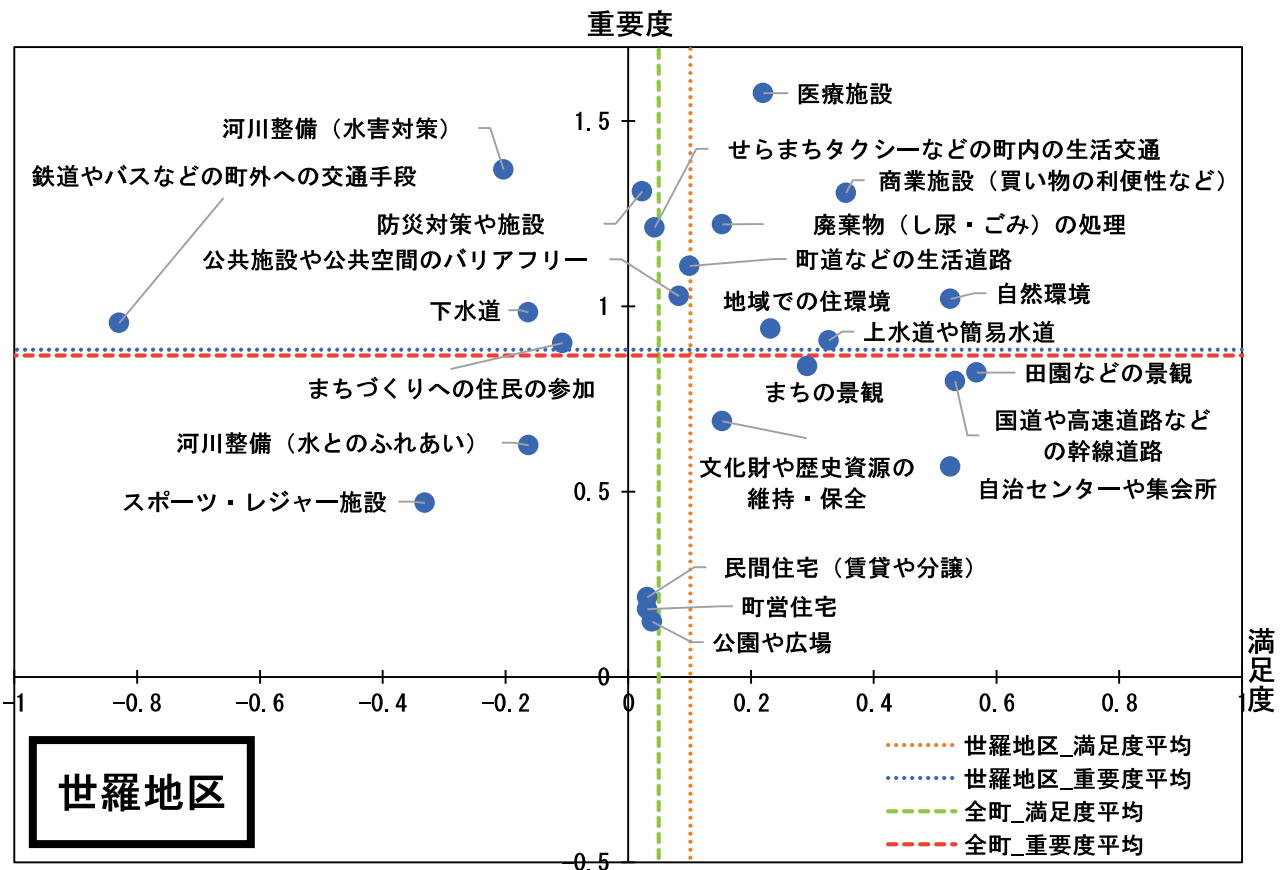
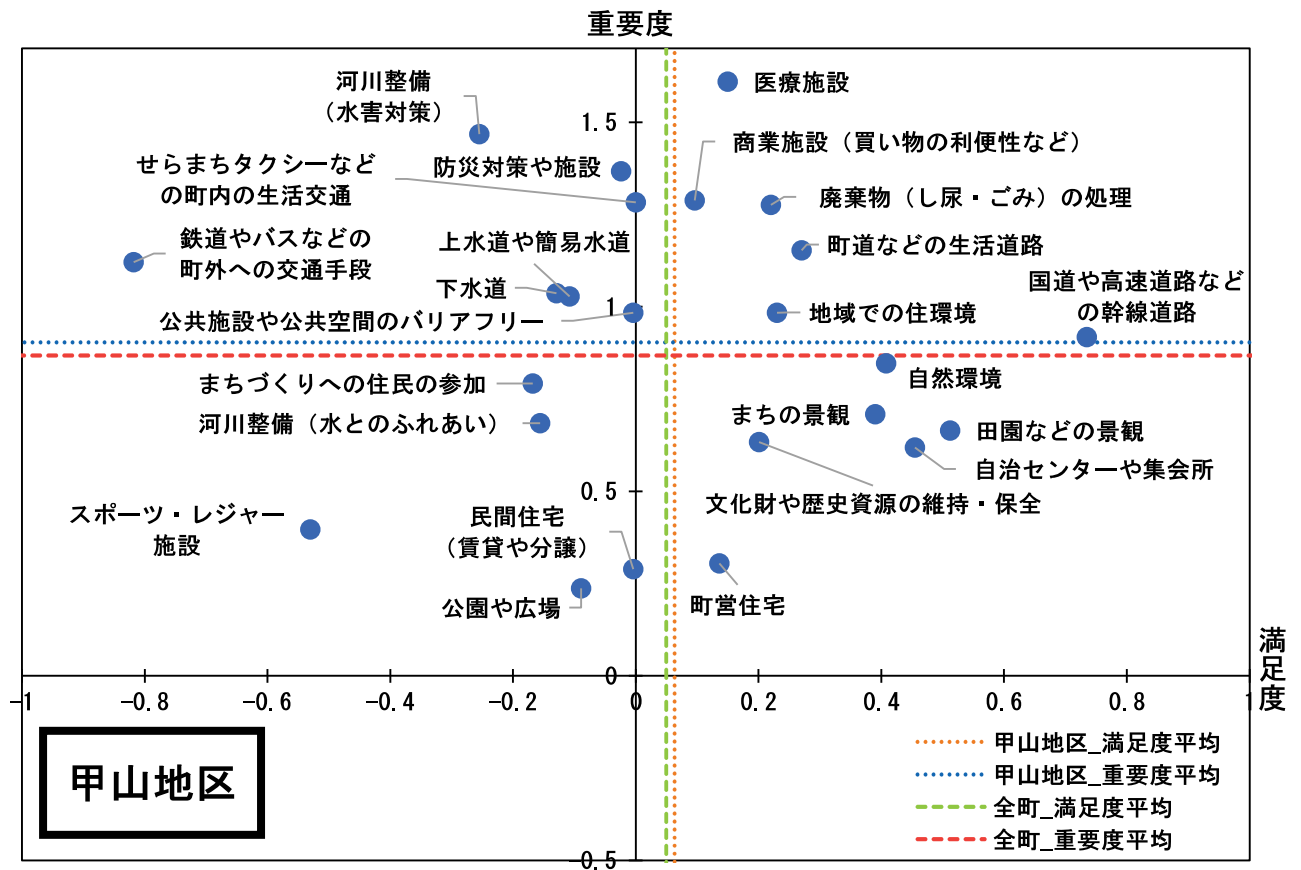
住宅に関する項目や、公園広場等の住環境に関する項目は重要度が比較的低い傾向にあります。

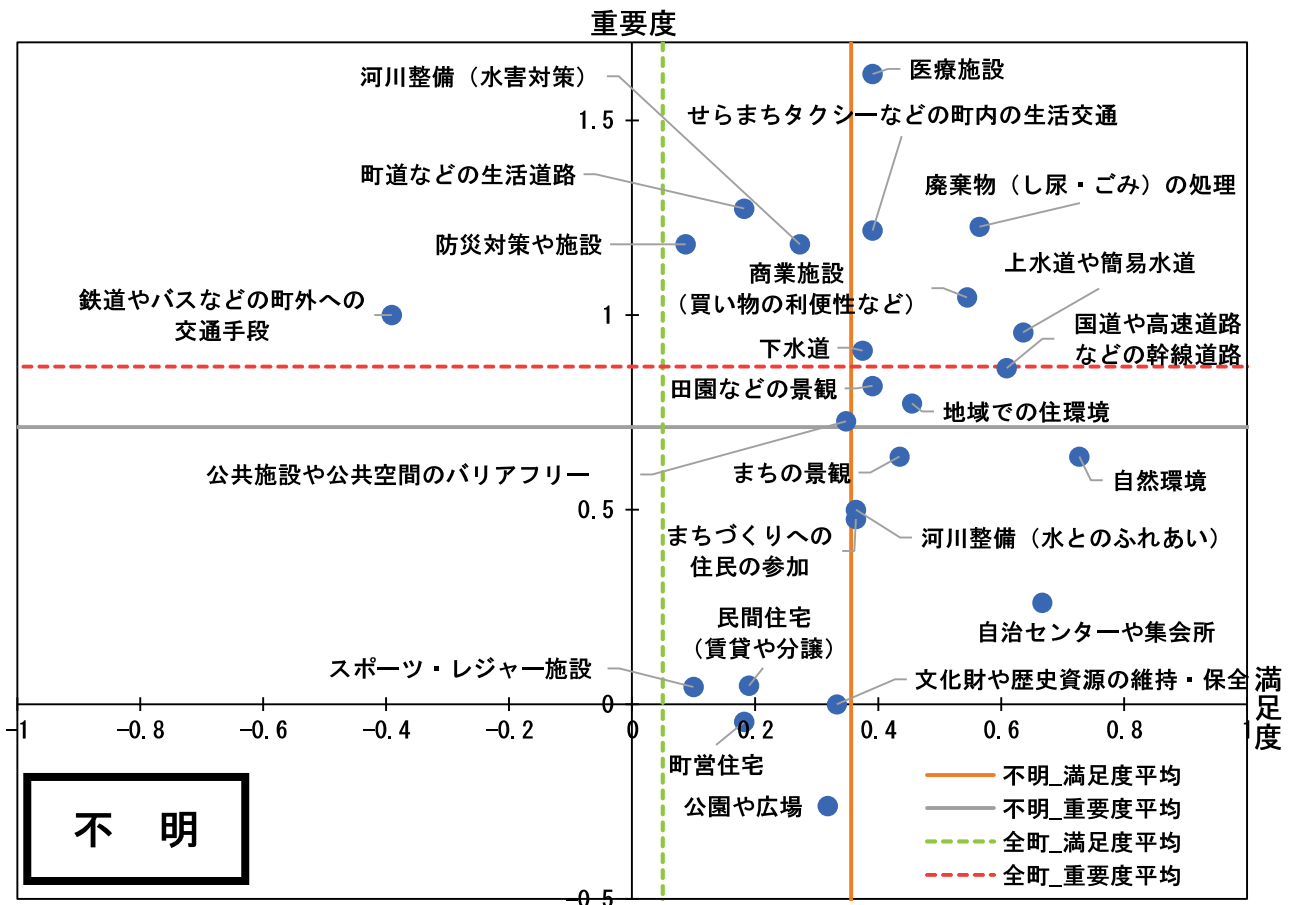
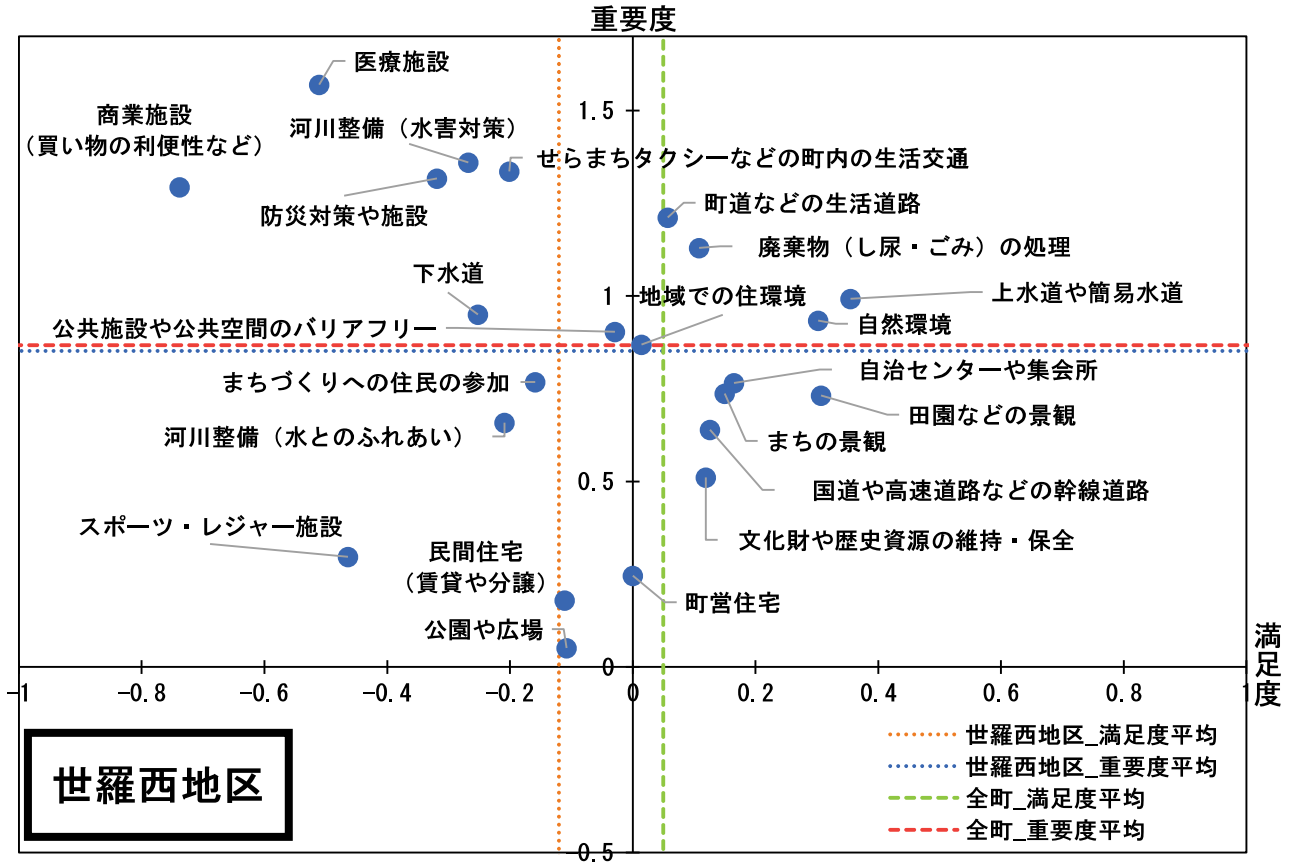


次に地域別に満足度・重要度の関係性を見てみると、甲山地区、世羅地区は全体的に重要度が高い傾向にありますが、満足度も比較的高い傾向にあります。

世羅西地区は他の二つの地区と比べると全体的に重要度が高く、満足度が低い傾向にあります。

移住地区が無回答の場合、重要度・満足度がともに高い傾向にあります。





用語解説

あ行

IoT(アイオーティー).....

Internet of Things の頭文字をとったもので、様々な「モノ」がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みです。また、それによるデジタル社会の実現を指します。

空き家バンク.....

現在使われていない町内の住宅の有効活用を通じて、地域活性化を図ることを目的として、町が創設した制度です。

町内の使用していない住宅等の所有者が賃貸・売却できる物件を登録し、希望する方に情報提供をする制度で、町のホームページや受付窓口にて情報の公開・提供を行っています。

NPO(エヌピーオー).....

営利を求めずに社会的使命を追求し、自発的・継続的に市民活動や社会貢献活動を行う民間団体をいいます。

特定非営利活動促進法に基づき、法人格を取得している団体を「特定非営利活動法人(NPO 法人)」といいます。

か行

幹線道路.....

都市の骨格となる道路で、他都市との連絡や、都市内の地域を連絡するなどの道路のことをいいます。また、家の前の道路など身のまわりの道路を生活道路といいます。

街区公園.....

子どもの遊び場や高齢者の運動・憩いの場として整備された最も身近な公園をいいます。

都市計画では半径 250m 圏内の利用を想定し、面積は 0.25ha を標準として配置する公園です。

合併処理浄化槽.....

し尿と併せて雑排水(生活系污水)を処理し、放流水の浄化を行う施設をいいます。

法律により、その構造や水質基準が定められています。

グリーンカーテン.....

つる性植物などを建築物の外側に生育させることにより、建築物の温度上昇抑制を図る省エネルギー手法をいいます。

景観計画.....

県や市町村などの景観行政を行う自治体が、良好な景観づくりのためにまとめた計画をいいます。平成 16(2004)年に施行された景観法で定められています。

さ行

サプライチェーン.....

製品の原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのことです。日本語では、「供給連鎖」と言われます。

自然動態.....

人口動向において、一定期間での出生児数から死亡者数を引いた人数の増減をいいます。

指定管理者制度

より効果的、効率的に公の施設の管理運営を行うために、民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図ることを目的とする制度をいいます。地方自治法の改正により、民間事業者も含めた幅広い団体に公共施設の管理運営を委ねることが可能となっています。

社会動態

人口動向において、一定期間での本町への転入者数から転出者数を引いた人数の増減をいいます。

住宅ストック

ある時点における既存の住宅総数（量）のことをいいます。また、「住宅ストック」に対応して、ある一定期間内に供給される住宅のことを「住宅フロー」ともいいます。

循環型社会

廃棄物等の発生抑制や資源の循環的な利用などにより、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる社会（づくり）のことをいいます。

準都市計画区域制度

都市計画区域以外の区域のうち、そのまま放置すれば、将来における都市としての整備・開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる区域を対象に、用途地域などを定め、土地利用の整序を行う区域制度をいいます。

水源のかん養

森林の有する機能の一つで、降った雨を土壌に蓄えて、時間をかけて川に流すなどの洪水を防ぐ森林の機能をいいます。

スパイラルアップ

具体的な施策や措置の内容について、施策に関係する当事者の参加の下、検証し、その結果に基づいて新たな施策や措置を講じることによって段階的・継続的な発展を図っていくことをいいます。

ソフト

本来は、コンピューターのプログラムをはじめとする利用技術のことをいいます。今日では、物的なもの以外の利用、運用などの事柄を表す言葉として使用されています。

た行**タスクフォース**

特定かつ緊急的な問題に対して解決処理するために一時的に設置される組織をいいます。

中心市街地

都市内で古くから商業や行政機能、生活機能が発達し、都市の中心となっている市街地をいいます。

通過交通

ある地域を単に通過するだけで、その地域内には目的地をもたない交通をいいます。

デマンド交通システム

地元のタクシー会社や自治体の小型乗合自動車で、住民を自宅などから目的地まで送迎する仕組みをいいます。

特定環境保全公共下水道

公共下水道のうち、市街化区域以外の区域において設置されるもので、自然公園法第2条に規定されている自然公園の区域内の水域の水質を保全するために施行されるもの、又は、公共下水道の整備により生活環境の改善を図る必要がある区域において施行されるもの及び、処理対象人口が概ね1000人未満で水質保全上特に必要な地区において施行されるものを指します。本町では、主に用途地域内を事業区域とする公共下水道の縁辺部にこの特定環境公共下水道の事業区域があります。

都市計画区域

健康で文化的な都市生活と機能的な都市活動を確保するという都市計画の基本理念に基づき、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全する必要があるとして指定する区域をいいます。

都市再生特別措置法

急速な情報化、国際化、少子高齢化等の社会経済情勢の変化に対応した都市機能の高度化及び都市の居住環境の向上等を目的に平成14年に制定された法律のことです。その後、平成26年の改正により、立地適正化計画の策定が可能となっています。

都市的土地利用

社会生活を営む上で必要な住宅、商業、工業施設や道路、公園、公共施設などの土地利用をいいます。

土砂災害警戒区域

土砂災害防止法に基づき、急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりによる土砂災害のおそれがある区域として、県知事が指定した区域をいいます。

な行**農業集落排水施設(事業)**

農業振興地域における農業用排水の水質保全、機能維持を図ることを目的として、同地域内の集落について実施する汚水処理事業をいいます。

は行**パークアンドライド**

自宅から自家用車で最寄りの駅または停留所まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道等の公共交通機関を利用して目的地に向かうシステムです。

ハード

本来は、コンピューターのデータ処理システムを構成する物理的な機械装置のことをいいます。今日では、道路や公園をはじめとした物的な施設・設備などの事柄を表す言葉として使用されています。

ハザードマップ

大規模地震や河川の氾濫などの自然災害が発生した場合に、住民が自主的かつ迅速に避難するために必要な避難場所や避難路、危険地域などの情報を地図上にわかりやすく示した地図をいいます。

バリアフリー

高齢者や障害のある人等が生活する上で、行動の妨げとなる物理的や人々の心に内在する障壁（バリア）などを取り去り、利用しやすい快適な生活空間をつくることをいいます。

バリアフリー住宅は、段差のない床や手すり、スロープが設置された住宅をいいます。

パブリックコメント.....

行政機関が政策決定や計画策定の過程において、住民が意見を提出する機会を設け、提出された意見を考慮して意思決定を行う一連の手続きをいいます。

PI(パブリックインボルブメント).....

計画の策定に際して、早い段階から広く意見・意志を調査し、かつ情報提供を行い、住民の意見を十分に反映しながら計画を決定していく住民参加による合意形成の仕組みをいいます。

PFI(ピーエフアイ).....

民間の資金、経営能力及び技術的能力及び技術能力を活用して公共施設の建設、維持管理、運営などを行う手法をいいます。

プロジェクトチーム.....

特定の目標を達成するため、比較的長期間にわたり編成される組織をいいます。

や行**ユニバーサルデザイン**.....

バリアフリーが障壁を取り除いていくという考え方であるのに対し、ユニバーサルデザインは年齢や能力などにかかわらず、すべての人々が利用しやすいよう、製品、建物、空間をデザインするという積極的な考え方をいいます。

用途純化.....

土地利用において、例えば住宅地の付近に工場などが立地し、著しく住環境を損なう状況などを避けるため、用途を制限した用途地域を指定することにより、一定の土地利用に制限する考え方のことをいいます。

用途地域.....

都市計画法に基づく地域地区の一種で、めざすべき市街地像に応じて用途別に13種類に分類される区域をいいます。

用途地域では、住居、商業、工業などの土地利用を区分し、それぞれの土地利用に見合った建物用途、密度（容積率、建ぺい率）、形態（高さ）を規制・誘導します。

また、建物用途が混在する地区（住工混在地区など）においては、用途地域を定めることによって、将来的に建物用途の純化（本来の誘導する用途とすること）を促すものです。

ら行**ランドマーク**.....

まちの中で方向を見定める場合に目印となる山の頂上や塔、ビルなどの構造物などで地域の人々から親しまれ、都市の顔となっているものをいいます。

6次産業.....

1次産業（生産）、2次産業（加工等）、3次産業（販売）の有機的な結合による総合産業のことをいいます。6次とは、1次、2次、3次の数字を足して（又は掛けて）6次となることから、この名称となっています。